



# 2010年度第3四半期 決算説明会

2 0 1 0 年 1 1 月 9 日

楽 天 株 式 会 社

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。  
様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。

## 1 2010年度3Q業績

## 2 主要事業別の状況

1. 楽天市場事業
2. 海外EC事業
3. トラベル事業
4. クレジットカード事業
5. 銀行事業
6. 電子マネー事業
7. 証券事業

## 参考資料

- 財務の状況
- その他の参考資料

- バランスの取れた多様なビジネスポートフォリオが顧客価値を最大化
- シナジーを通じ、サービスの粘着性を向上
- 革新的かつ高い業務遂行能力
- 先進的なR&D（楽天技術研究所）
- 携帯&スマートフォンに関する高い技術を更に向上
- ECにおける注力分野は、ソーシャルショッピング／バーティカル／フラッシュ・マーケティング／物流

**1** 2010年度3Q業績

■ 売上高、営業利益、経常利益、EBITDAにおいて第3四半期としては、過去最高を記録



- 営業利益(プロフォーマ\*)  
177億円 +9.4% (前年同期比)
- EBITDA(プロフォーマ\*)  
240億円 +10.0% (前年同期比)
- 国内グループ流通総額 6,828億円達成

\*:CMBS評価損調整後

■ 国内事業は健全な成長が持続



- 楽天市場の流通総額は冬物の出遅れや前年の新型インフルエンザ特需の剥落にも関わらず +16.3% (前年同期比)を実現
- トラベル事業営業利益 +20.0%(前年同期比)、ポータル・メディア事業営業利益 +54.9%(前年同期比)といずれも高い成長率を達成

■ EC事業の国際展開

- 中国事業の出足は好調
- Buy.com とPriceMinister の買収が完了
  - 両社とも流通総額は高成長が継続し、利益率も大きく改善

■ クレジットカード事業は利益回復基調へ

- カードショッピング中心のビジネスモデルへと転換が進む
- 営業利益 +20.8%(前年同期比)

# 2010年度3Q 連結業績 まとめ



(単位:十億円)

	09/3Q (7月-9月)	10/3Q (7月-9月)	
	プロフォーマ*1	プロフォーマ*1	前年同期比
売上高	77.2	88.4	14.5%
営業利益	16.2	17.7	9.4%
営業利益率	21.0%	20.1%	-
経常利益	15.9	17.3	8.7%
EBITDA *2	21.9	24.0	10.0%

\*1:CMBS評価損調整後

調整前の10/3Q利益 営業利益 159億円、経常利益 155億円、EBITDA 223億円

\*2: EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費-債権流動化影響額

# 2010年度3Q 売上高・EBITDAまとめ（事業カテゴリー別）

（単位：十億円）

			09/3Q（7月-9月）			10/3Q（7月-9月）				
			売上高	EBITDA*1	EBITDA マージン	売上高	前年同期比	EBITDA*1	前年同期比	EBITDA マージン
ネットサービス	EC トラベル ポータル・メディア	ネット*2	36.5	13.1	35.9%	45.6	24.8%	14.8	12.8%	32.5%
		グロス (会計上)	41.6	13.1	31.5%	51.6	24.1%	14.8	12.8%	28.7%
ネット金融	クレジットカード 銀行 証券 電子マネー*3		29.5	5.4	18.3%	32.5	10.2%	4.4	-18.4%	13.6%
その他	通信 プロスポーツ		9.8	1.1	11.7%	8.8	-9.8%	1.1	3.8%	13.4%
全社・内部消去			-3.7	1.2	-	-4.5	-	1.8	-	-

\*1 EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費-債権流動化影響額

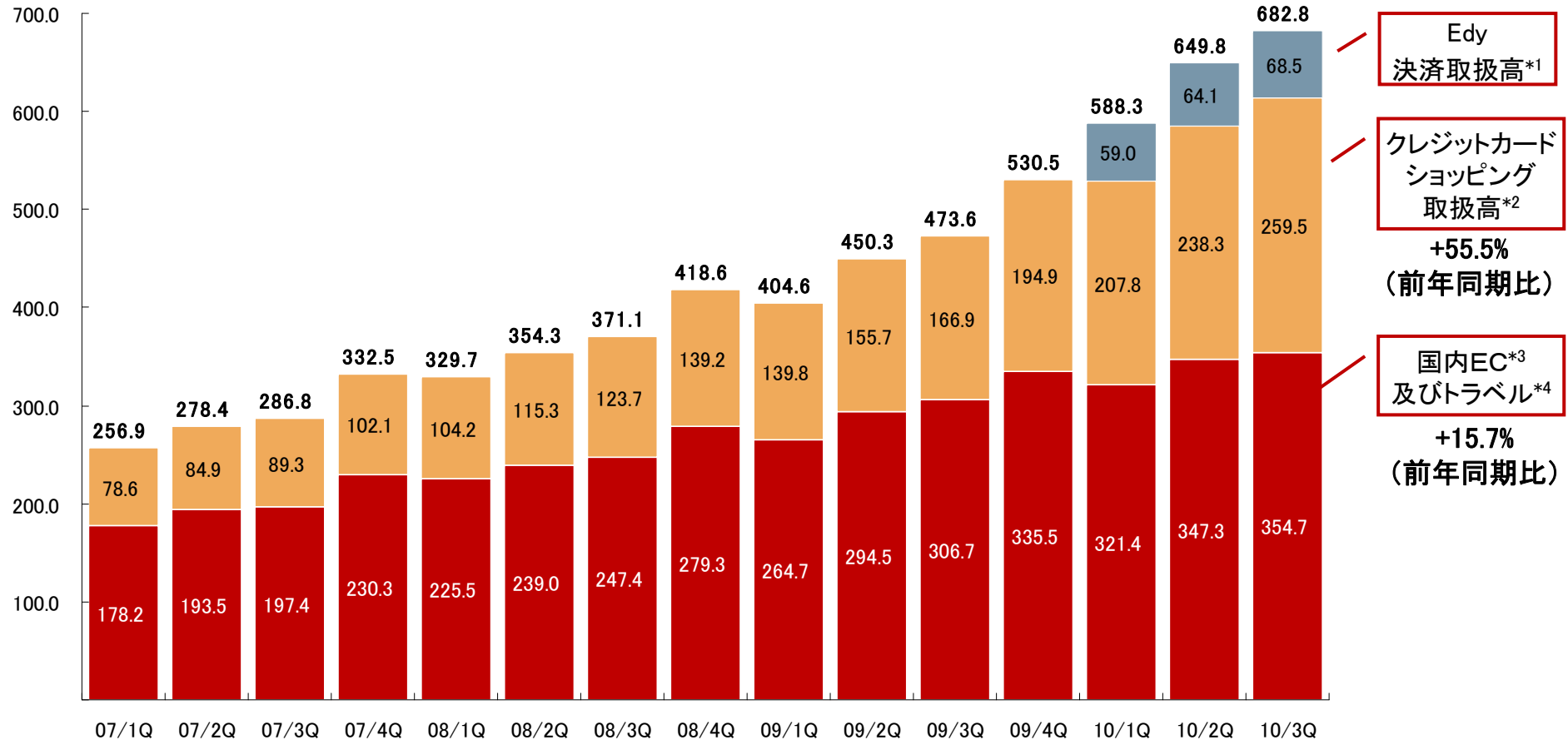
\*2（参考情報）：EC事業セグメント内の直販型のビジネスモデル（パッケージメディア事業）の粗利を売上高とみなして表示

\*3：10/1Qよりビットワレット（株）連結開始



## 国内EC及びトラベルの流通総額成長 +15.7%(前年同期比)

(単位:十億円)



Edy  
決済取扱高\*1

クレジットカード  
ショッピング  
取扱高\*2  
**+55.5%**  
(前年同期比)

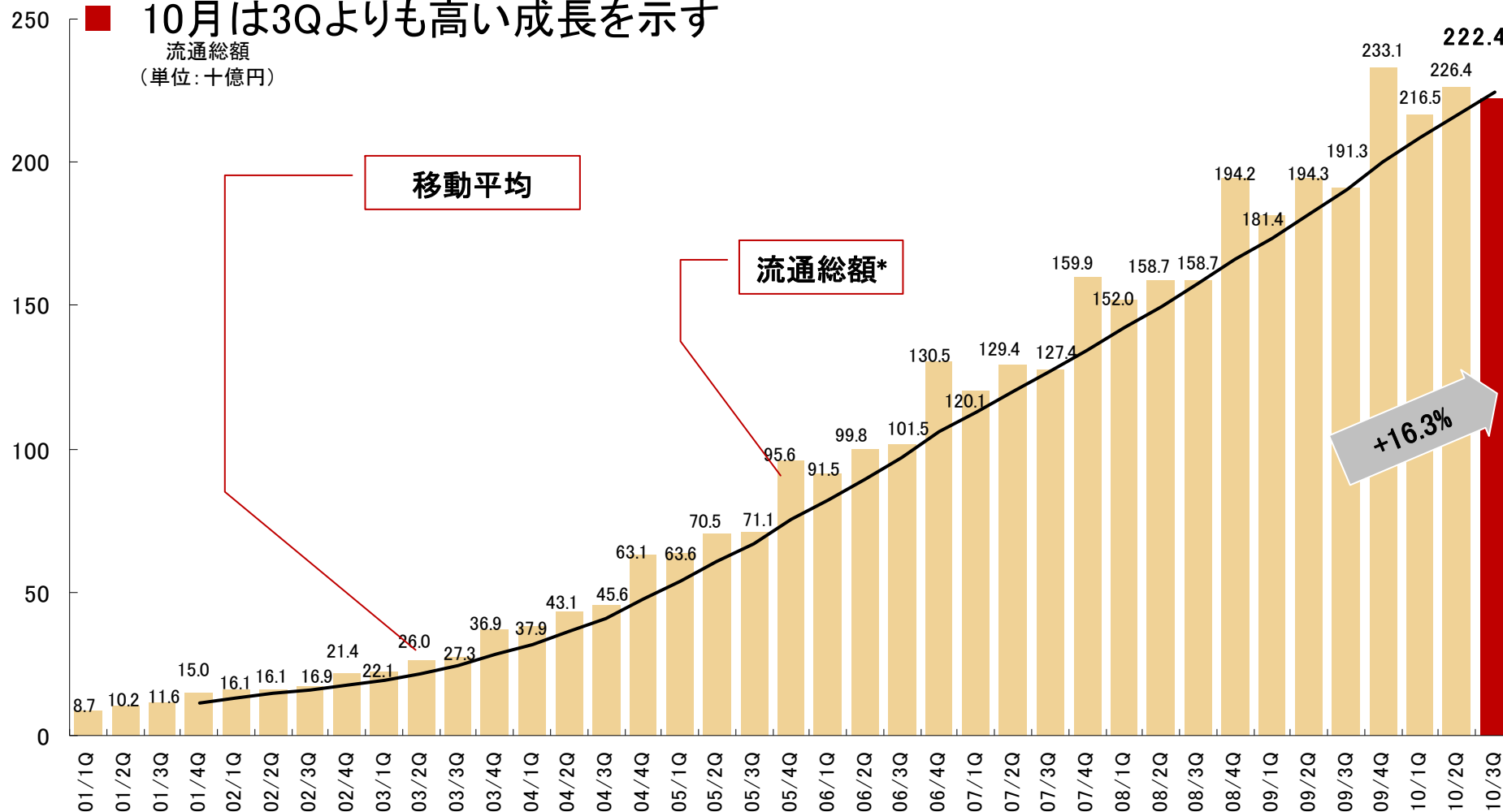
国内EC\*3  
及びトラベル\*4  
**+15.7%**  
(前年同期比)

\*1:Edy決済取扱高=電子マネーEdyにより決済された金額(モバイル(おサイフケータイ)及びカード)  
 \*2:クレジットカード・ショッピング取扱高=楽天KC発行のクレジットカードのショッピング取扱高(楽天グループのサービス利用を含む)  
 \*3:国内EC流通総額=モール(通常購入・共同購入)、モバイル、オークション(旧フリマ含む)、ブックス、GORA、ビジネス、ダウンロード、チケット、ネットスーパー、チェックアウト、楽天競馬、toto(09/1Q~)\*5、ShowTime\*5、メディアレンタル\*5  
 \*4:トラベル予約流通総額=予約受付時に対する流通総額(キャンセル前、税別料金に換算)  
 =国内/海外施設予約、海外航空券、楽天バスサービス、国内/海外ダイナミックパッケージ、レンタカー  
 \*5:10/2Q開示からサービス開始時まで遡及して追加

# 流通総額の推移(楽天市場・楽天ブックス)

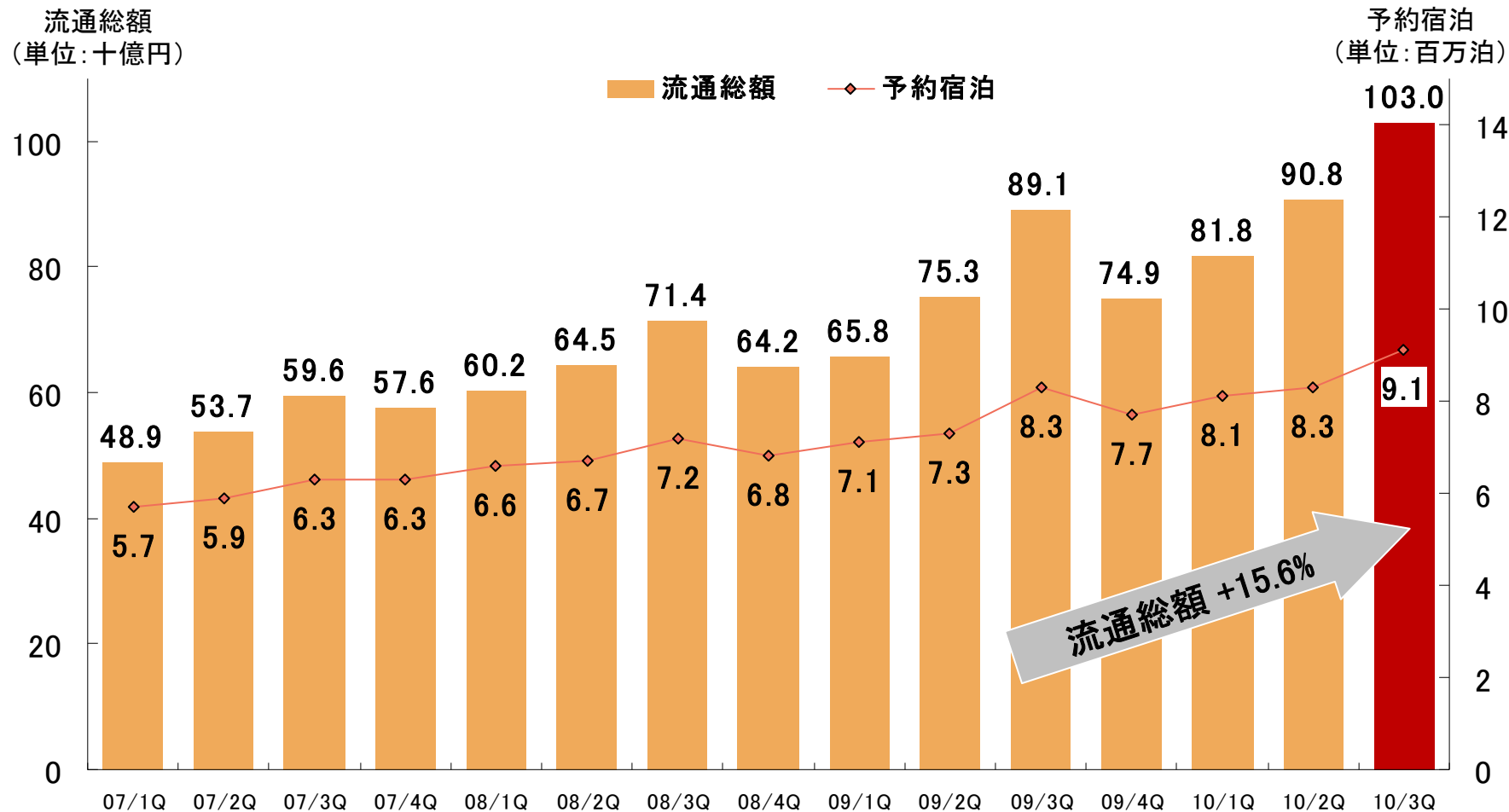


- 冬物商材の出遅れと前年の新型インフルエンザ特需の剥落にも関わらず、流通総額は成長 +16.3%(前年同期比)
- 10月は3Qよりも高い成長を示す



\*: 流通総額=モール(通常購入・共同購入)・モバイル(通常購入・共同購入)・ブックス

■ 前年9月のシルバーウィークの反動があるも、特集&キャンペーン強化による夏の需要取り込みが奏功し、予約流通総額\*は+15.6%(前年同期比)



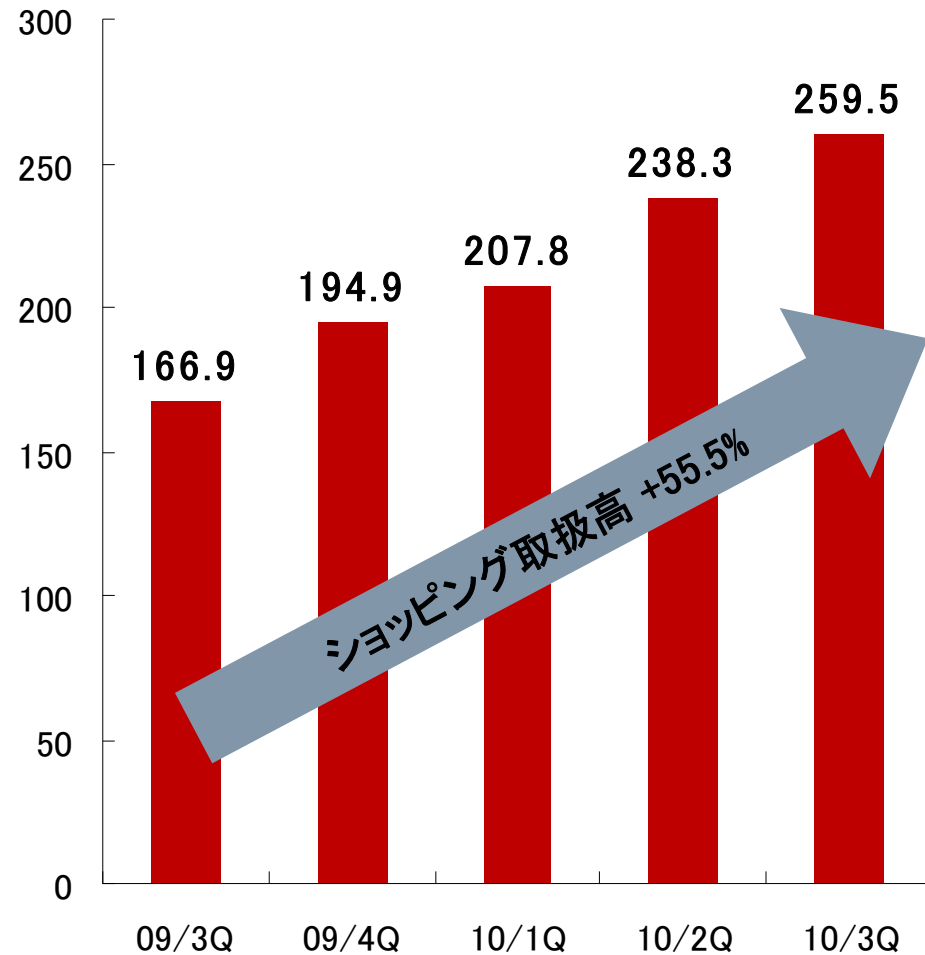
\*:トラベル予約流通総額=予約受付時に対する流通総額(キャンセル前、税別料金に換算)  
 =国内/海外施設予約、海外航空券、楽天バスサービス、国内/海外ダイナミックパッケージ、レンタカー

# 楽天KC クレジットカード・ショッピング取扱高・ リボ残高(元本)の状況



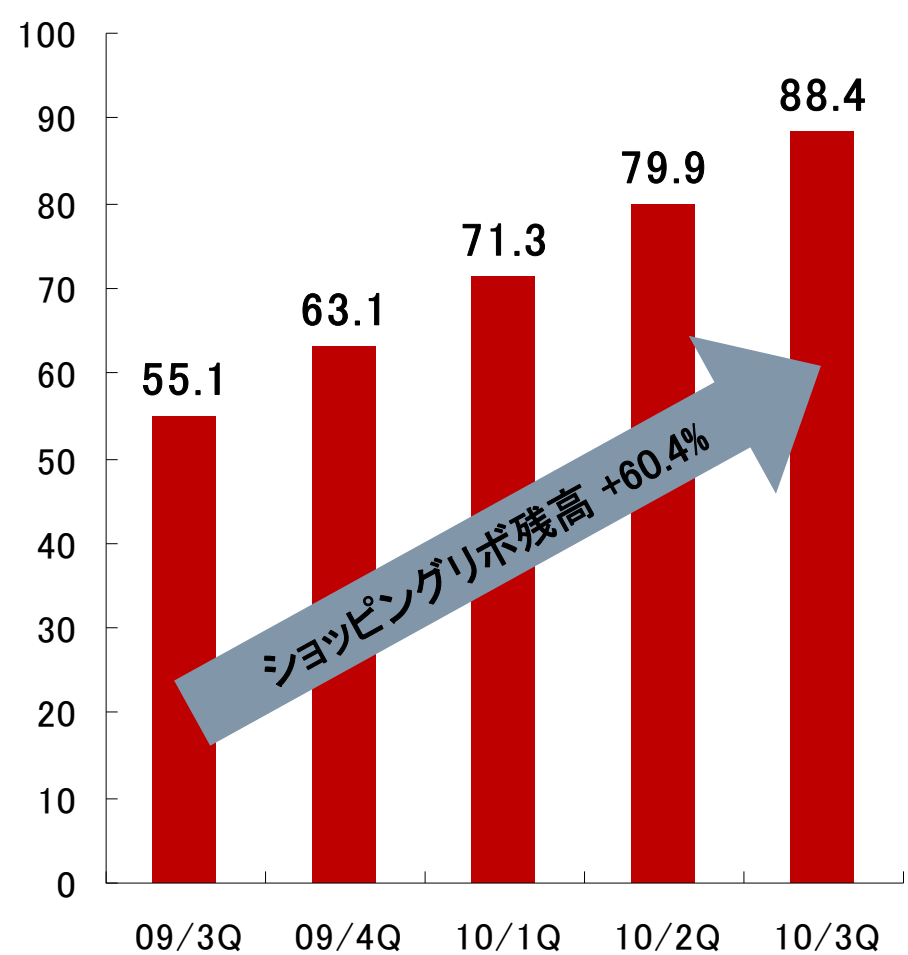
## カードショッピング取扱高

(単位:十億円)



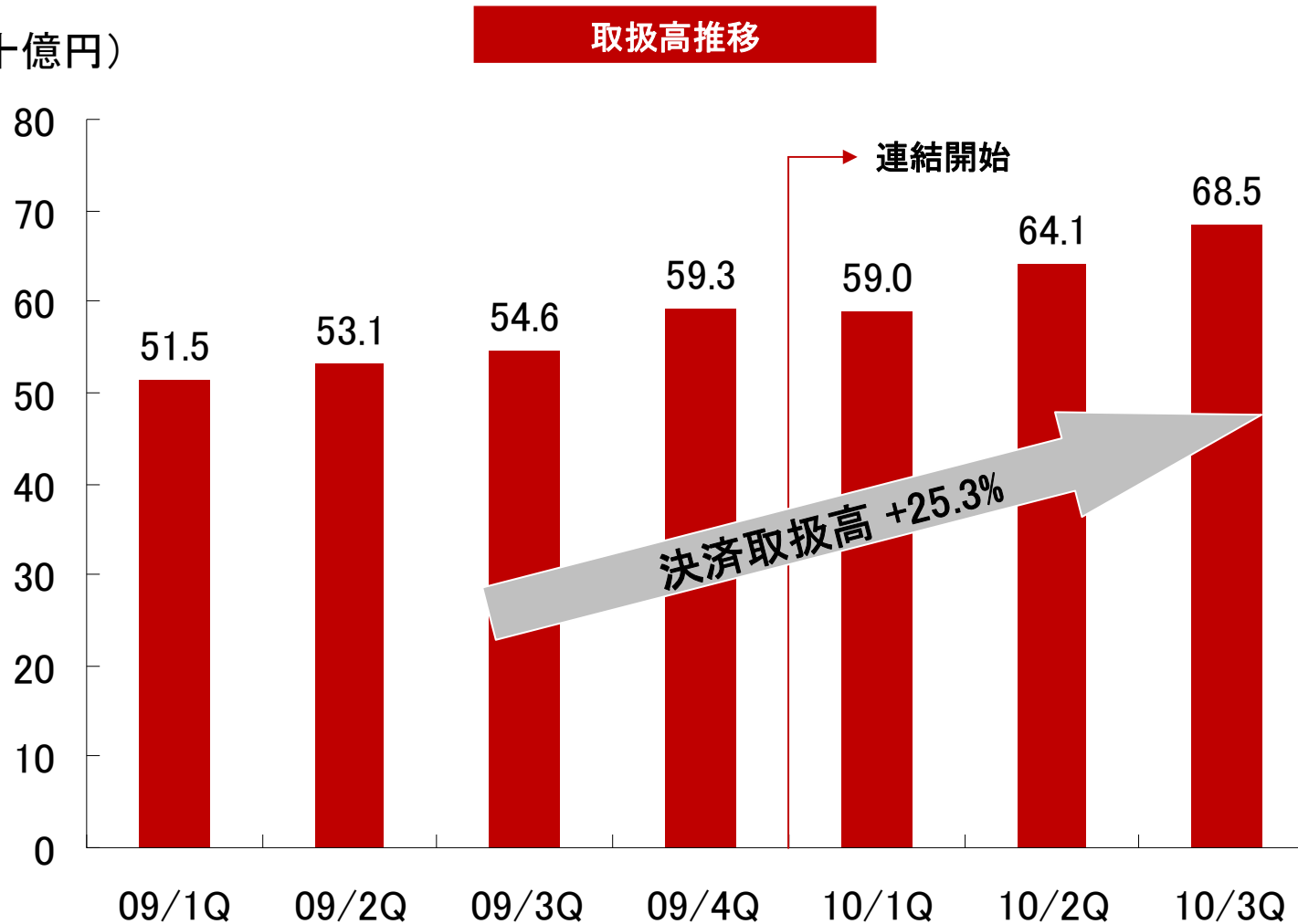
## ショッピングリボ残高

(単位:十億円)



- Edyの決済取扱高は+25.3%(前年同期比)と順調に増加

(単位:十億円)



## ■ 利益率向上のための施策

1. 全社ベースでの効率性向上
2. 選択と集中の徹底による、不採算事業の見直し
3. 開発部門及び管理部門の費用削減
4. 効果的なマーケティングの実施

## 2 主要事業別の状況

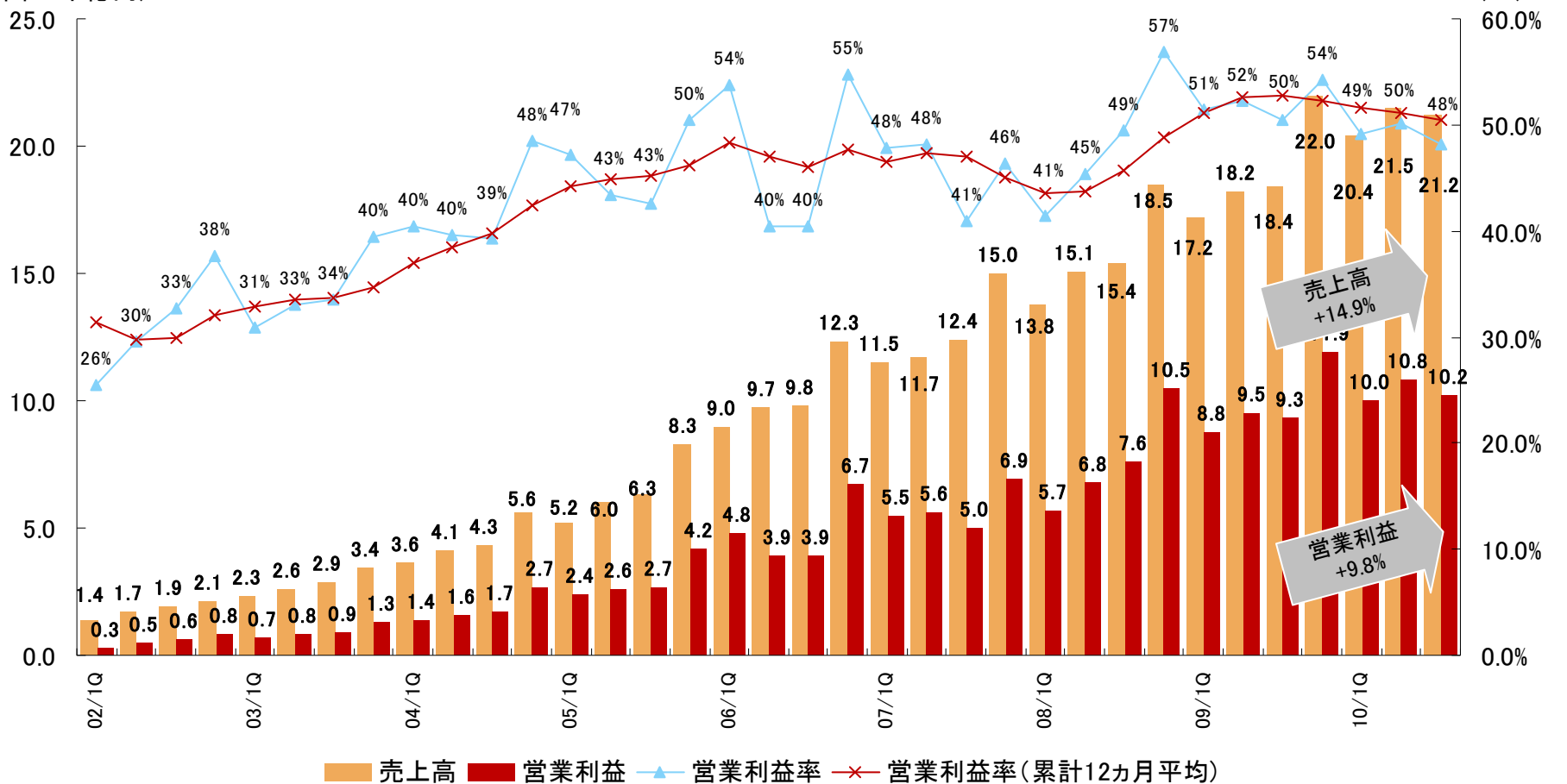
1. 楽天市場事業
2. 海外EC事業
3. トラベル事業
4. クレジットカード事業
5. 銀行事業
6. 電子マネー事業
7. 証券事業

2 -1 樂天市場事業



## ■売上高成長率は+14.9%(前年同期比)、営業利益は+9.8%(同左)

営業利益、売上高  
(単位:十億円)



\*1 02/1Qから04/4Qの業績は楽天(株)からポータルメディア事業を除いた業績

■ユニーク購入者数は+18.6%(前年同期比)と順調に成長持続

	08/3Q	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q
ユニーク 購入者数*2 (百万人)	6.37	7.03	7.17	7.72	7.75	8.54	8.60	9.14	9.19
注文件数 (百万件)	20.65	24.19	24.05	27.11	26.43	31.02	30.27	33.26	32.92
平均購入回 数	3.24	3.43	3.35	3.50	3.41	3.63	3.51	3.63	3.58
一回当たり の 購入金額	7,505	7,843	7,346	6,970	6,998	7,267	6,908	6,585	6,503
一人当たり の 購入総額*3	24,327	26,969	24,637	24,449	23,868	26,390	24,291	23,940	23,291

\*1: メールアドレスベース、モール・モバイルでの通常購入及び共同購入

\*2: ユニーク購入者数=当該四半期の間に1回以上楽天市場で商品を購入したユーザーをメールアドレスベースで名寄せした数

\*3: 一人当たりの購入総額=当該四半期楽天市場流通総額÷ユニーク購入者数

- 8月及び9月は例年になく冬物商材の売行きが出遅れ
  - コートやブーツといった冬物衣料や暖房器具に影響
- 前年の新型インフルエンザ特需の効果が剥落 (09/Q3 11億円)
- 流通総額は高水準での成長が継続
  - 10月の流通総額の伸びは3Qより好調
- 営業利益率変動の理由
  - 戦略的なマーケティングキャンペーンの実施によりポイントコストが増加
  - 国内外の事業拡大に伴う開発費や管理費用等の負担が増加

- 今後は効果的なマーケティングに集中
  - ポイントキャンペーンやリスティング広告をコントロール
  - マーケティング施策の多様化
  
- Project V3の下、開発部門及び管理部門の費用をコントロール
  - 売上高成長率対比でのコスト管理
  - 開発案件の優先度の見直し

## 1. 品揃えの拡充

- 『楽天プロダクト』複数店舗間の商品毎の価格比較及びレビュー機能
- 大手メーカーの出店増
- アパレル企業へのサポート強化

## 2. 販促手法の多様化

- 『Rakupon』クーポンサービスが好調
- twitterやEメールを活用したフラッシュマーケティング
- 優良会員向けのプライベートセールス

## 3. RFC (Rakuten Fulfillment Center)を開所、 配送サービスの強化

Rakuten Fulfillment Center



2 -2 海外EC事業

進出地域・国の現状に合わせ3つのモデルを複合的に展開

楽R天

BtoBtoC モデル

店舗育成、地域貢献型

PRICEMINISTER  
l'Achat - Vente Garanti

安全・安心型CtoC

エスクロー、偽物補償



Buy.com

在庫非保有直販モデル

販売主として品質保証

➔ 成長市場、  
個人間取引で有効

➔ 黎明期・新興市場で  
有効

- 楽天主義を各社に導入、高成長と収益性向上に貢献
- Buy.com
  - ソーシャルショッピング『Shop Together』が好調
  - 大手企業との提携が進捗
- PriceMinister
  - EC事業のフランス以外の地域への展開が進む
  - トラベル比較サイトも順調
- Rakuten Federation Technical Meetingを開催
  - 多国間でのサービス・技術の共同開発促進



- 流通総額の高い成長が継続
  - 楽天市場台湾、Buy.com 及びPriceMinisterは、いずれも+20～30%（前年同期比）と高い成長率を達成（2010年9月）
  
- 利益率が大幅に改善
  - トップラインの成長とKPIマネジメントが寄与

- KPIマネジメントの導入後、効率性が顕著に上昇
  - 収益性は09/3Q から10/3Q までに1.5 倍以上に拡大
  
- サービスの提供力と顧客満足度が向上
  
- 最新の技術や機能の迅速な開発と提供
  - 機敏な(agile)技術開発を徹底

# 日本同様、店舗主体の売り場構成

**乐酷天 商城**  
Rakuten x 乐酷天

乐酷天首页 | 抽奖商品 | 排行榜 | 多倍积分 | 免运费 | 超值折扣 | 日本商品 | 新晋品牌

商品分类 [下拉] 搜索 [按钮] 所有商品 | 当前促销

人气搜索: 新款大衣 | 衬衫 | 文胸 | 保暖内衣 | 毛衣裤 | 秋冬服饰 | 首饰 | 钻石 | 足浴器 | 男士牛仔 | 手机

**今日热点**

- 花野美奈彩全场包邮
- 全场满100减20不封顶!
- 时尚假发全场七折起
- 霸王真发护发产品

乐酷天神速秒杀火热招募!  
潮流精品全场八折还包邮!  
全场买一送一, 仅限两天!

**贺乐酷天商城盛大开幕**  
千万现金大放送  
注册就送10元现金券 (限前100万名注册用户)

乐酷天注册送现金 | 买就送10倍积分 | 新店开张三重礼 | 满200送100!

**品牌推荐**

361° | WENGER | SPORTICA | NOKIA  
KingCamp | MARUBI | SOCOOL | Nike

**活动专区**

- 湖南卫视 买1送1
- 佐卡伊结婚饰品大促销 买就送南非真钻石
- WENGER 威戈品牌箱包开业大促销 全场包材特卖3折起
- SPORTICA 男装旗舰店 开业全场第2件半价 仅限3天

**商品分类**

时尚女装	美容护肤	品牌男装	户外运动	食品饮料	母婴用品
女装	护肤美体	男装	户外	零食	婴儿食品
女士内裤	彩妆香水	手机数码	运动用品	饮料	儿童玩具
鞋包配饰	个人护理	相机	运动鞋	食材	儿童服饰
流行饰品	居家生活	手机	运动服	保健滋补	妈咪用品
箱包	床品	MP3	家电大家	保健品	宠物用品
鞋	汽车用品	电脑	家具	个人护理	婴童用品

**排行榜** 2010/10/1

**抽奖商品** Dior 彩妆

乐酷天商城

- 10月19日開業、約2,000店舗が出店
- 幅広い品揃えを提供
  - 衣料、アクセサリ、家具、家庭用電子機器、デジタル製品、ベビー用品、化粧品
- 多様な決済手段を提供
- 「本物だけを扱うショッピング・モール」: PriceMinisterのノウハウを活用し、模倣品の発見と排除を徹底
- メッセンジャーやエスクローサービス等、現地の実情に合わせた機能をBaidu(百度)と共に提供

2 -3 トラベル事業

■ 高い成長率を維持

- 前年に比べシルバークの反動があるも、夏の需要取り込みは奏功し、予約流通総額 +15.6%(前年同期比)

■ ダイナミックパッケージ化を更に推進

- JAL楽パック販売開始 9/1～
  - 約900便の航空券×約2万件の宿泊施設を自由に組み合わせ可能
  - 離島など豊富なJAL路線の取り扱いでお客様の選択肢を拡充

■ 利便性の向上、新規ユーザ取込を促進

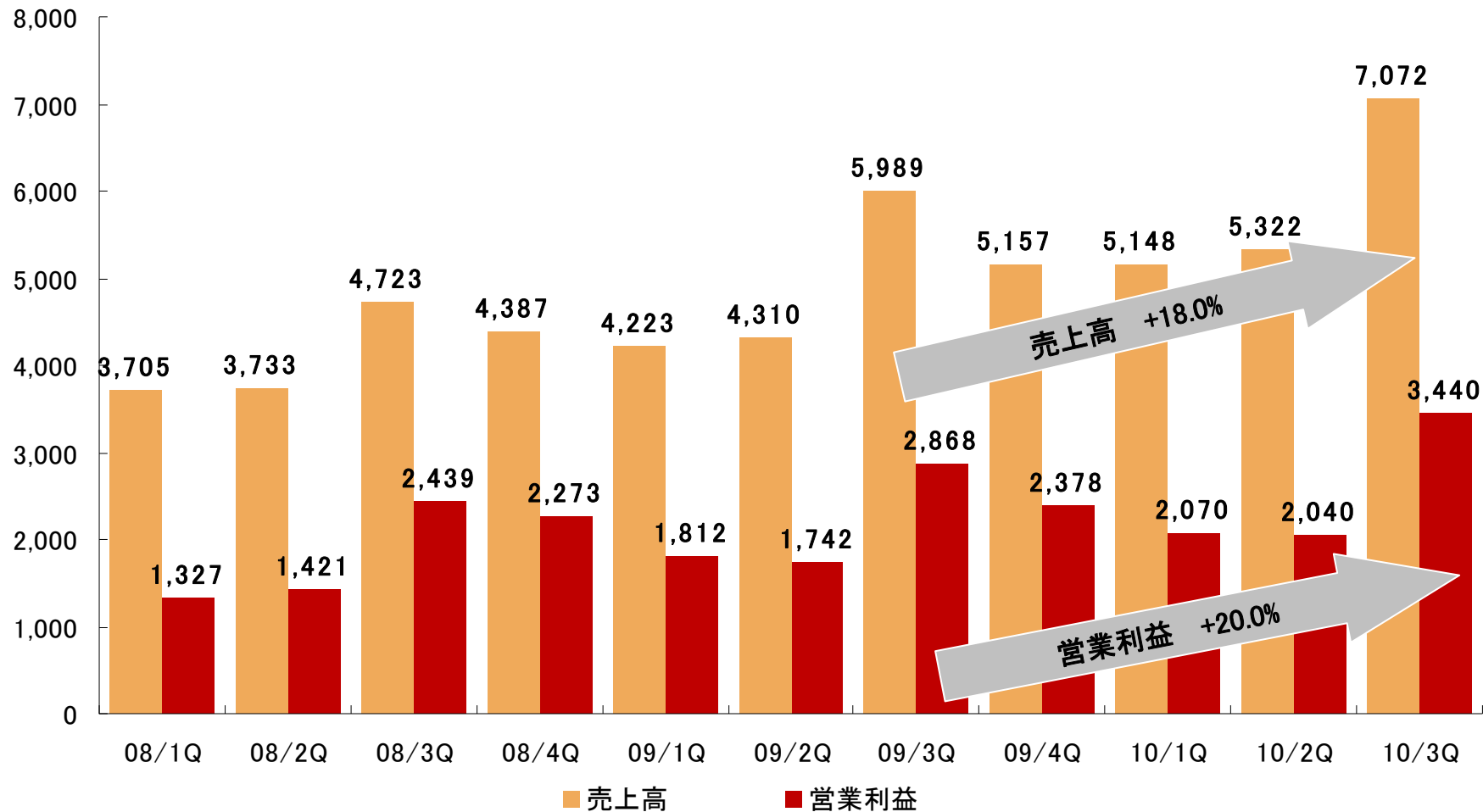
- スマートフォン対応をさらに加速
  - Android対応アプリケーション(8/19～)
  - iPhone用アプリケーション『たびメモ』(9/21～)
- 大型企画を相次いで開催
  - 『トラベル駅伝』、『朝ごはんフェスティバル2010』

# トラベル事業セグメント 業績の推移



■売上高 +18.0%(前年同期比)、営業利益+20.0%(同左)と高成長を維持

(単位:百万円)



## トラベル事業セグメント 主要旅行各社の旅行取扱高\*



(単位:十億円)

社名	国内旅行取扱高	前年同期比	海外旅行を含む旅行取扱高	前年同期比
JTB グループ	218.1	+3%	346.8	+9%
近畿日本ツーリスト	60.4	+4%	97.4	+12%
日本旅行	56.7	+1%	87.2	+11%
<b>楽天トラベル</b>	<b>52.6</b>	<b>+21%</b>	<b>55.7</b>	<b>+22%</b>
ANA セールス	37.2	-2%	42.7	-1%
阪急交通社	35.5	+7%	101.8	+17%
エイチ・アイ・エス	0.3	-	64.3	+18%

\*出典：日本経済新聞2010年8月20日朝刊記事より、2010年4-6月の主要旅行各社の旅行取扱高



## 2 -4 クレジットカード事業

■ ビジネスモデル転換が  
進捗



- ショッピング取扱高の成長加速 +55.5%  
(前年同期比)
- ショッピングリボ残高の成長維持 +60.4%  
(前年同期比)
- 営業利益 +20.8% (前年同期比)

■ 顧客サービスの強化



- Edy機能付き「楽天カード」の発行開始
- 国内クレジットカード業界初のiPhone端末  
対応支出管理アプリケーションをリリース

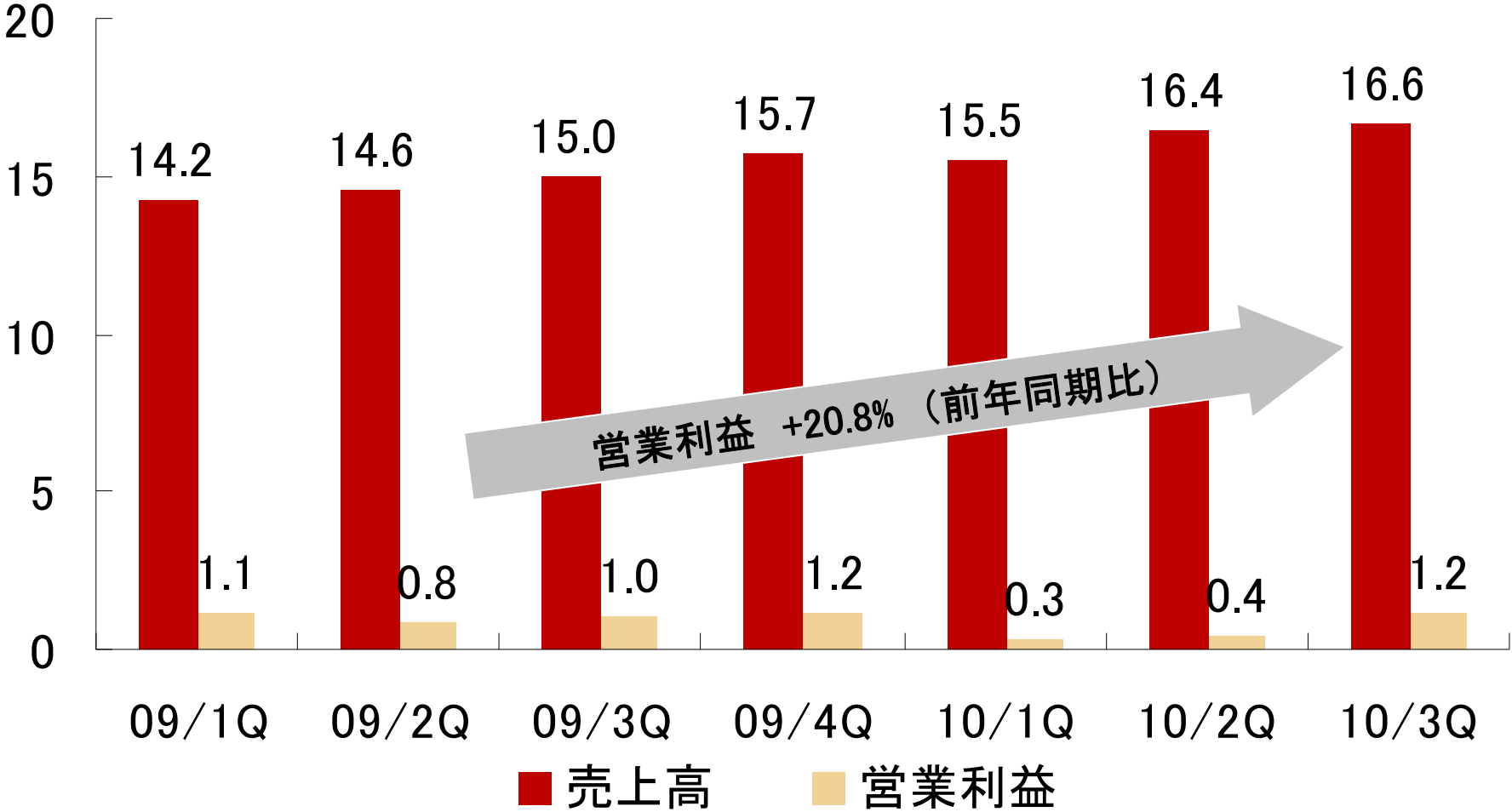
■ 回収力強化



- 法改正に伴う変化に対し、前年同期比並みの  
回収パフォーマンスを達成

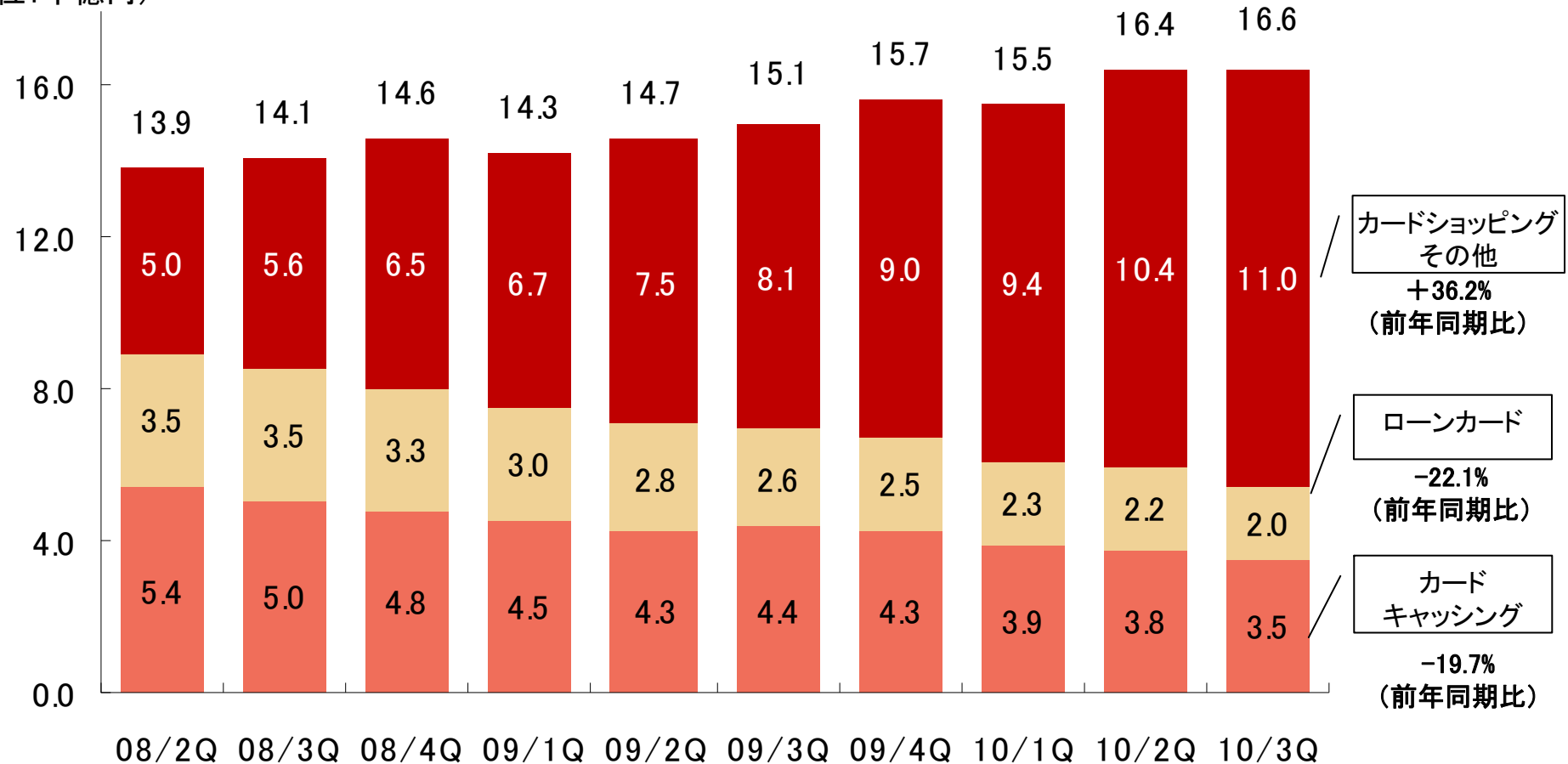
■ キャッシング・ローン収益の減少はあるものの、営業利益+20.8%(前年同期比)

(単位:十億円)



## ■ カードショッピング収益の順調な増加によりビジネス転換が進む

(単位:十億円)



\*: 売上高の内訳詳細は参考資料に掲載

## 2 -5 銀行事業

■ 楽天銀行では経常黒字を維持



- CMBSの評価損(約18億円)が発生するものの、銀行単独では経常黒字を維持
- 連結前に購入した私募ファンド、CMBS等の不動産証券化商品は着実に減少

■ グループシナジーの効果により基礎収支\*1が堅調に増加



- ハッピープログラム会員数(ID連携会員)は順調に増加し 140万人突破
- 決済手数料の増加により基礎収支\*1も堅調に増加 +62.1%(前年同期比)

■ ローン事業は健全な回復へ

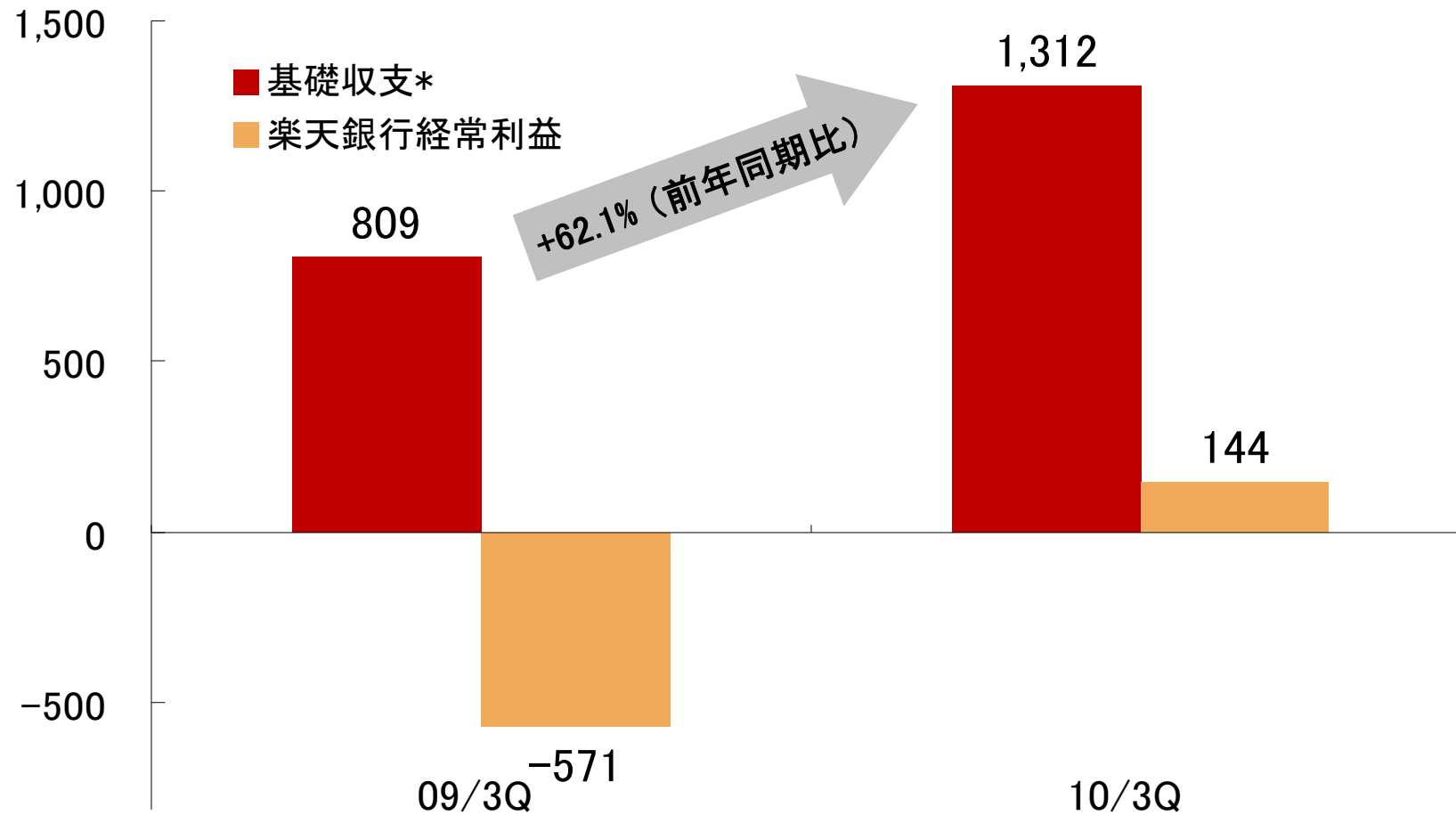


- 『楽天銀行スーパーローン』債権残高が増加 +13.6%(前年同期比)
- 貸倒引当残高率も減少傾向

\*: 基礎収支 = 投資等による一時的な損益以外の本業での収支。経常損益より投資運用の時価変動・売却等により発生した損益を控除したもの。

■基礎収支は順調に増加 +62.1%(前年同期比)、CMBSの評価損が発生するも、  
経常黒字を確保

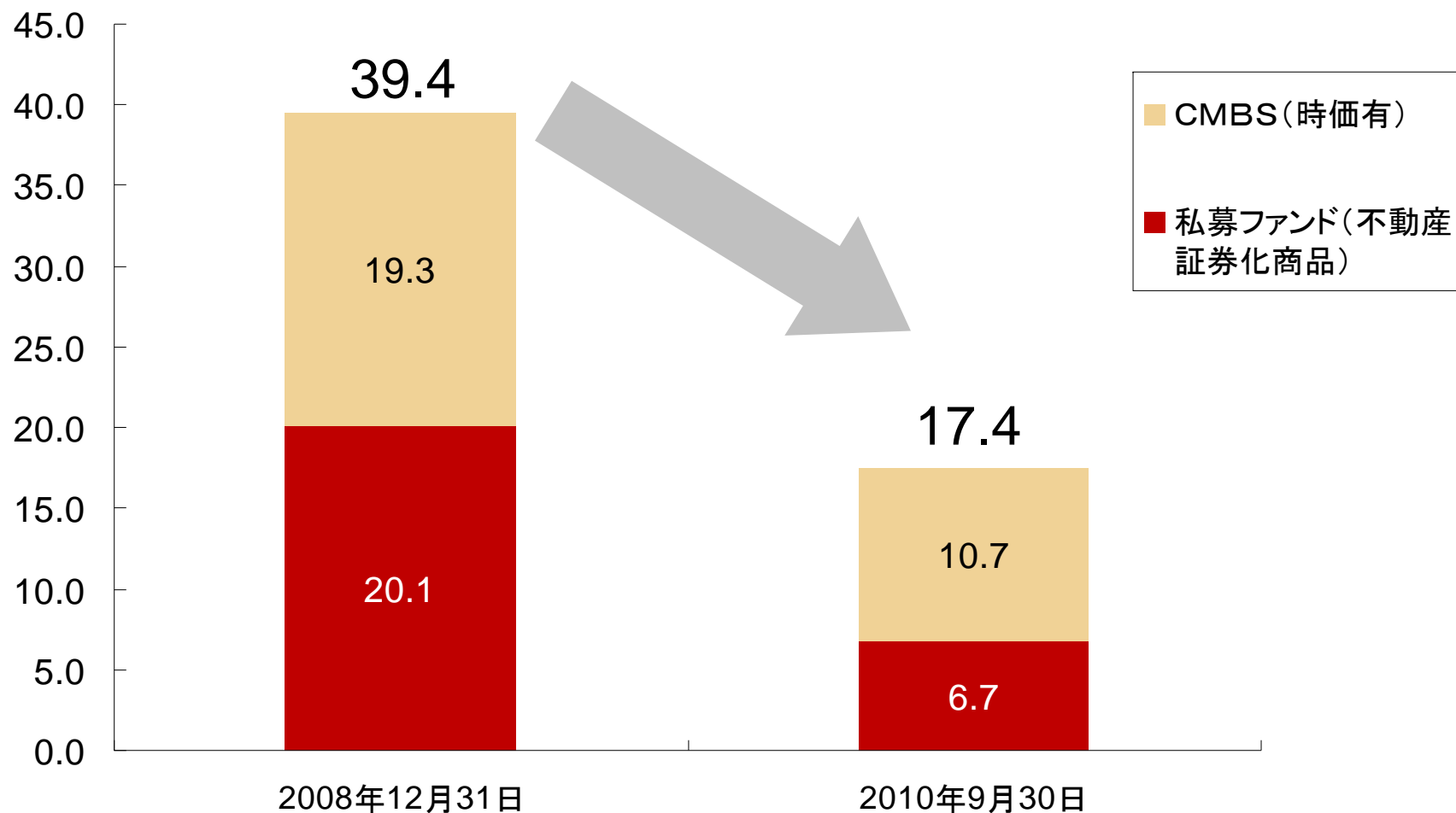
(単位:百万円)



\*:基礎収支=投資等による一時的な損益以外の本業での収支。経常損益より投資運用の時価変動・売却等により発生した損益を控除したもの。

- 連結前に購入した不動産証券化商品(私募ファンド、CMBS等)の運用資産は順調に減少。着実に処理が進む。

(単位:十億円)

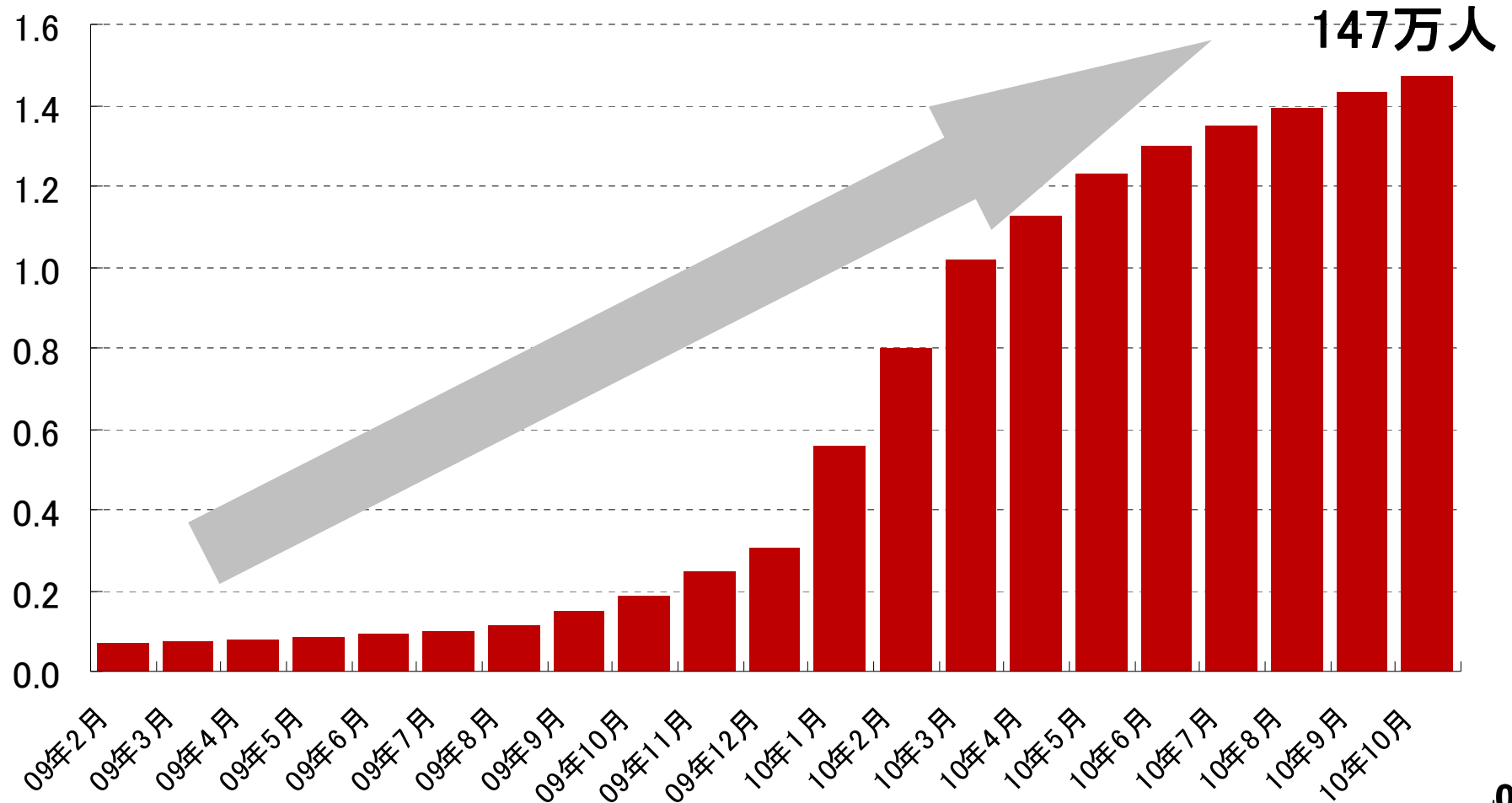




# ハッピープログラム会員(ID連携会員)数

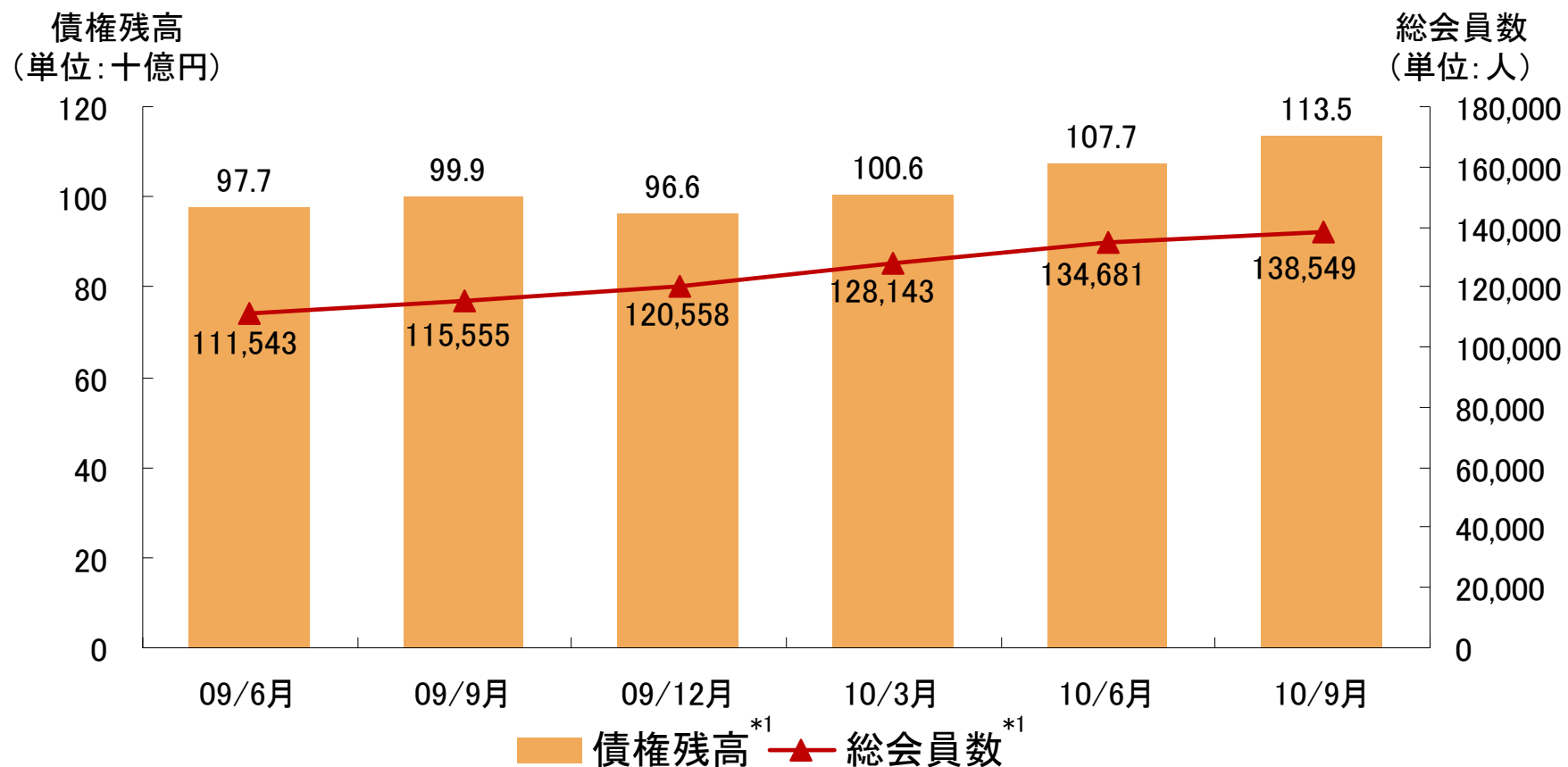
■ 楽天会員の利用が広がり、ID連携会員は140万人を突破

(単位:百万人)



0

# 楽天銀行 カードローン『楽天銀行スーパーローン(旧マイワン)』 債権残高の推移



	09/6月	09/9月	09/12月	10/3月	10/6月	10/9月
貸倒引当残高率*2	2.85%	2.91%	3.02%	2.88%	2.79%	2.65%

\*1: 債権残高及び総会員数ならびに貸倒引当金については楽天銀行と楽天クレジットとの合計

\*2: 貸倒引当残高率: 引当残高 / 期末債権残高

## 2 -6 電子マネー事業

■ 利用可能箇所と  
Edy取扱高の拡大



- 自動販売機への対応も進み、  
利用可能箇所数は全国約24万カ所に増加  
+55.8%(前年同期比)
- コンビニエンスストアを中心に取扱高が  
伸長 +25.3%(前年同期比)

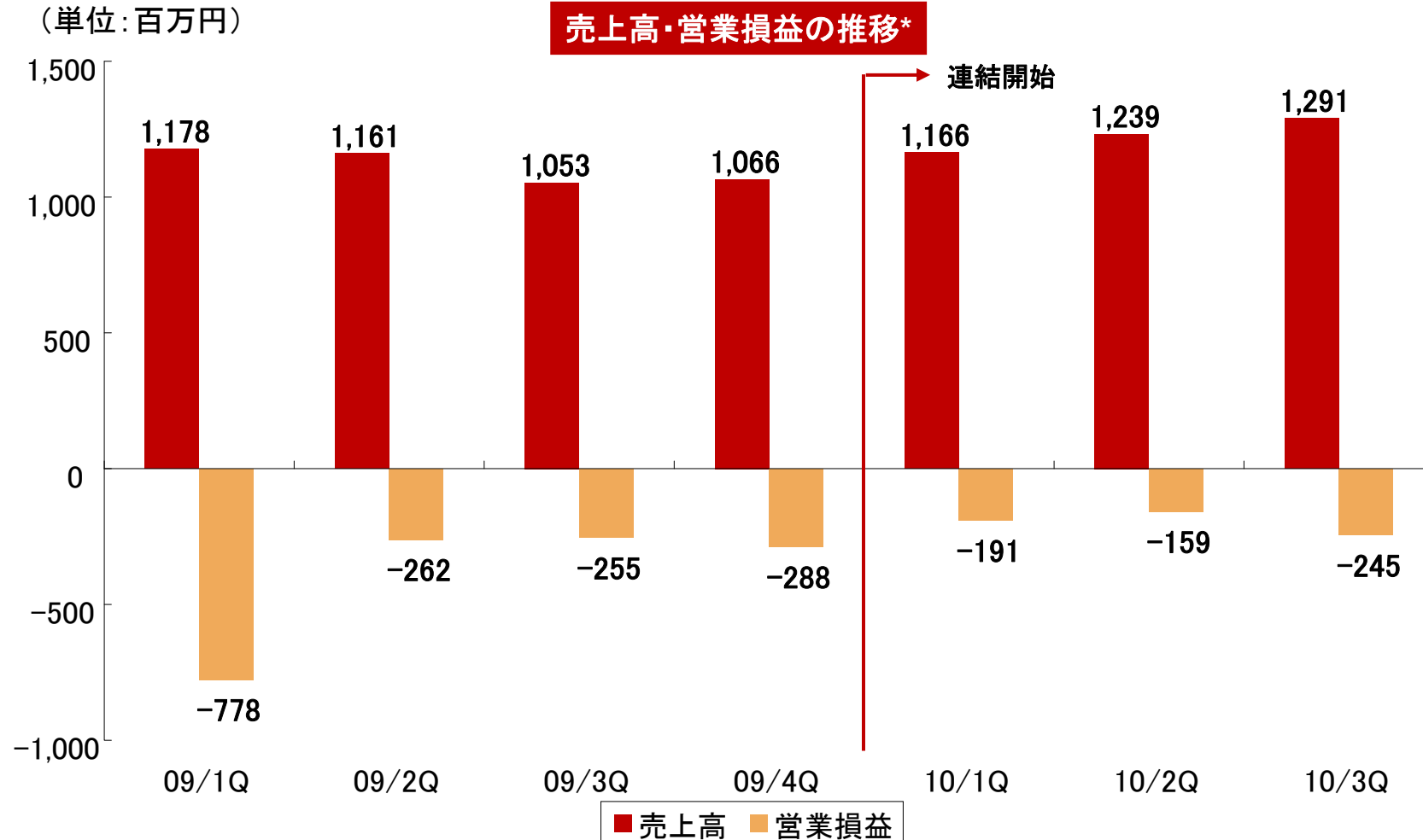
■ 楽天グループとの  
連携推進



- 楽天カードへEdy機能の搭載開始  
(2010年9月よりサービス開始)
- 楽天会員のクレジットカードチャージの  
利便性が大幅向上

- 売上高は順調に増加しているものの、今後の取扱高拡大に向けた販売促進費等の増加により、営業損益は一時的に悪化

(単位:百万円)



\*09/4Q迄ビットワレット(株)単体の業績、10/1Q以降は楽天グループの電子マネー事業セグメントの業績(のれん代償却費含む)

## 2 -7 証券事業

■ 株式市況低迷による  
減収減益(前年同期比)



- 株式市況の低迷による手数料収益の減少
- FXレバレッジ規制強化によるマーケットの縮小

■ 商品ラインナップの拡充



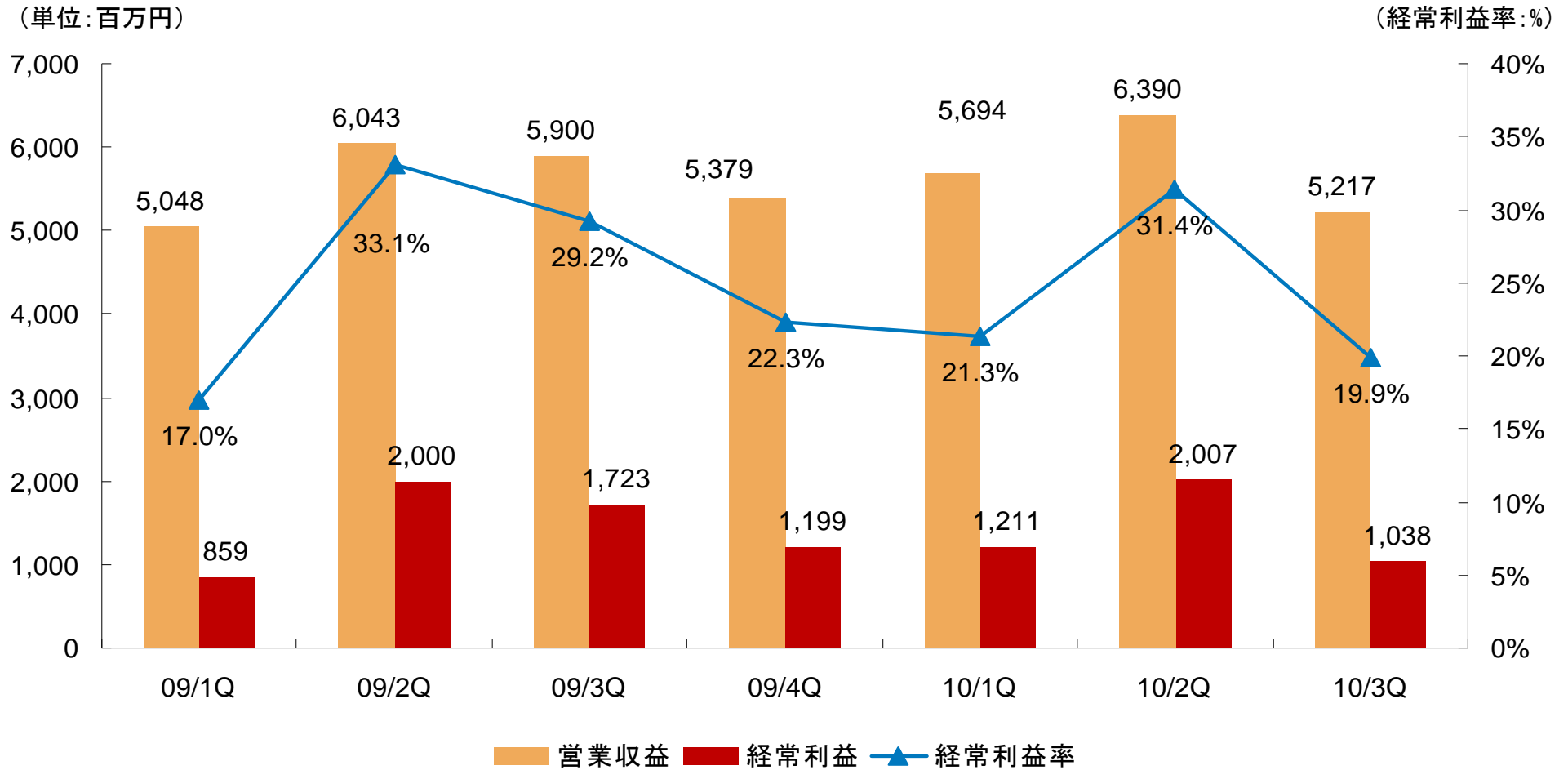
- 個人向け国債の取扱い開始
- 投資信託取扱銘柄数1,000本突破

■ グローバル商品の強化



- CMEやSGXへの接続による、海外指数先物及び海外商品先物の取引開始

■ 市況低迷の影響を受け、営業収益は-11.6%(前年同期比)、経常利益は-39.8%(同左)で減収減益

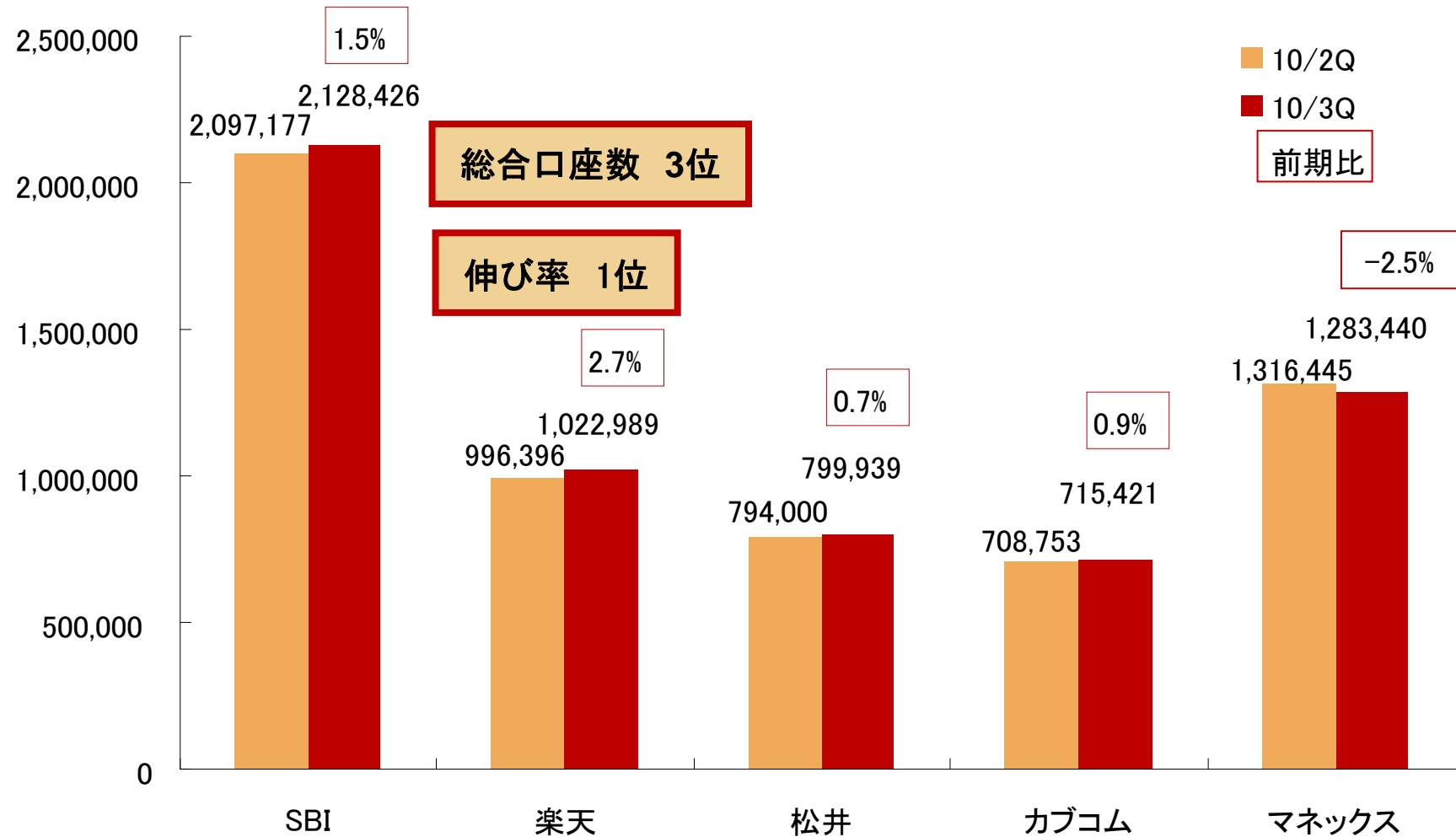




# 楽天証券 総合口座数の推移



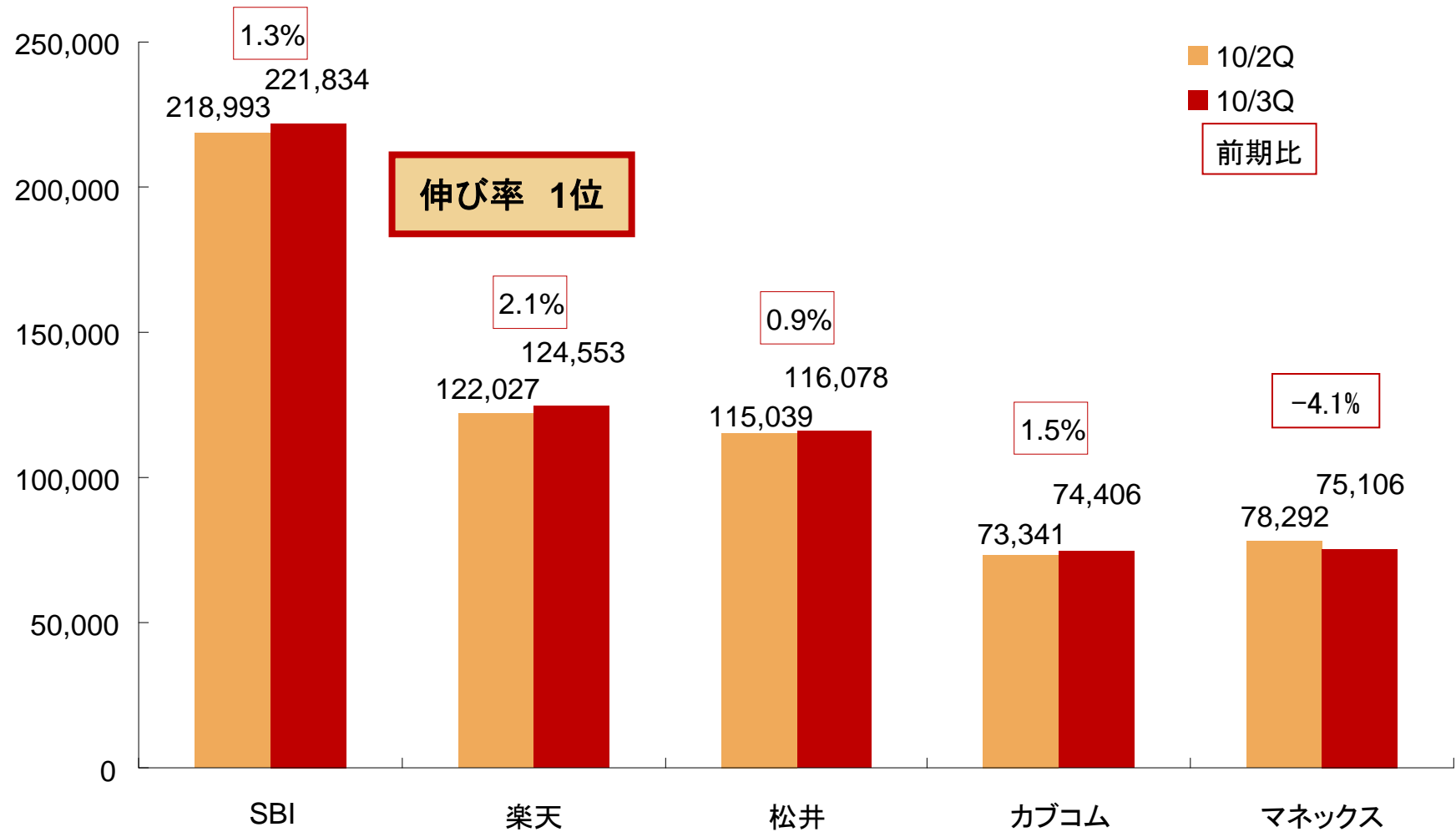
(単位:口座)



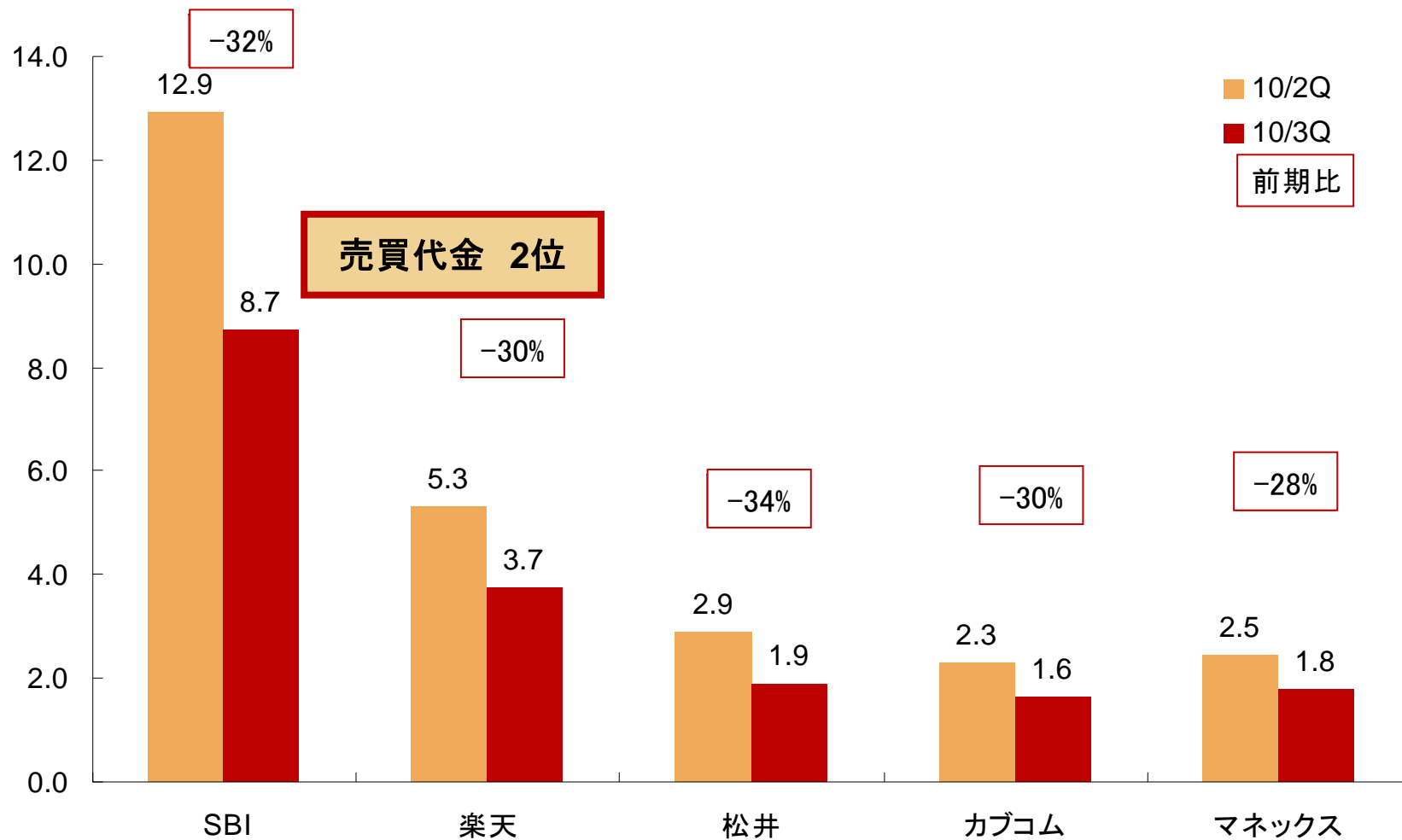
# 楽天証券 信用口座数の推移



(単位:口座)



(単位:兆円)



## 参考資料

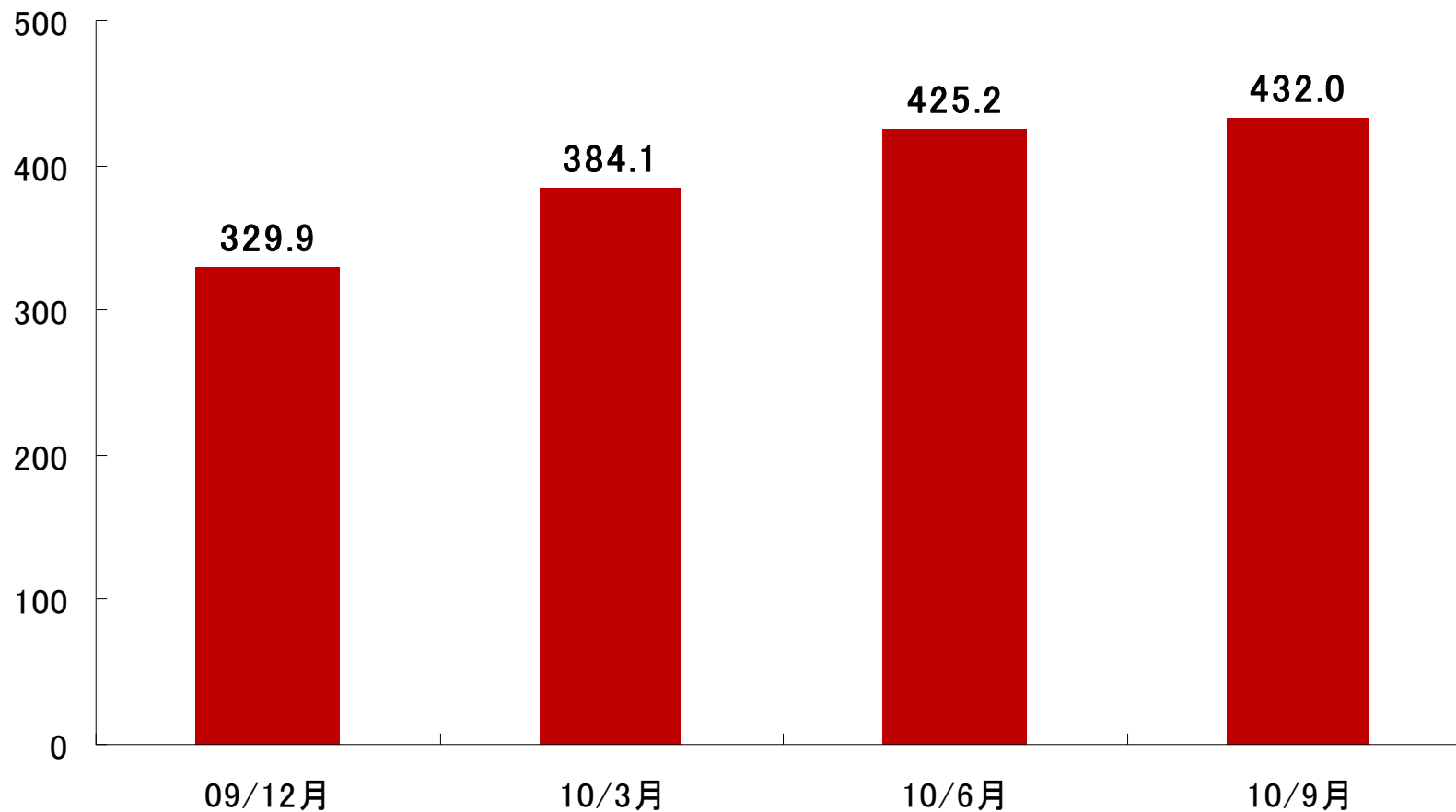
- 財務の状況
- その他の参考資料

## 財務の状況

## ■ カードショッピング事業の拡大に伴い、楽天KCにおける借入金増加

(単位:十億円)

### 外部金融機関からの負債の推移



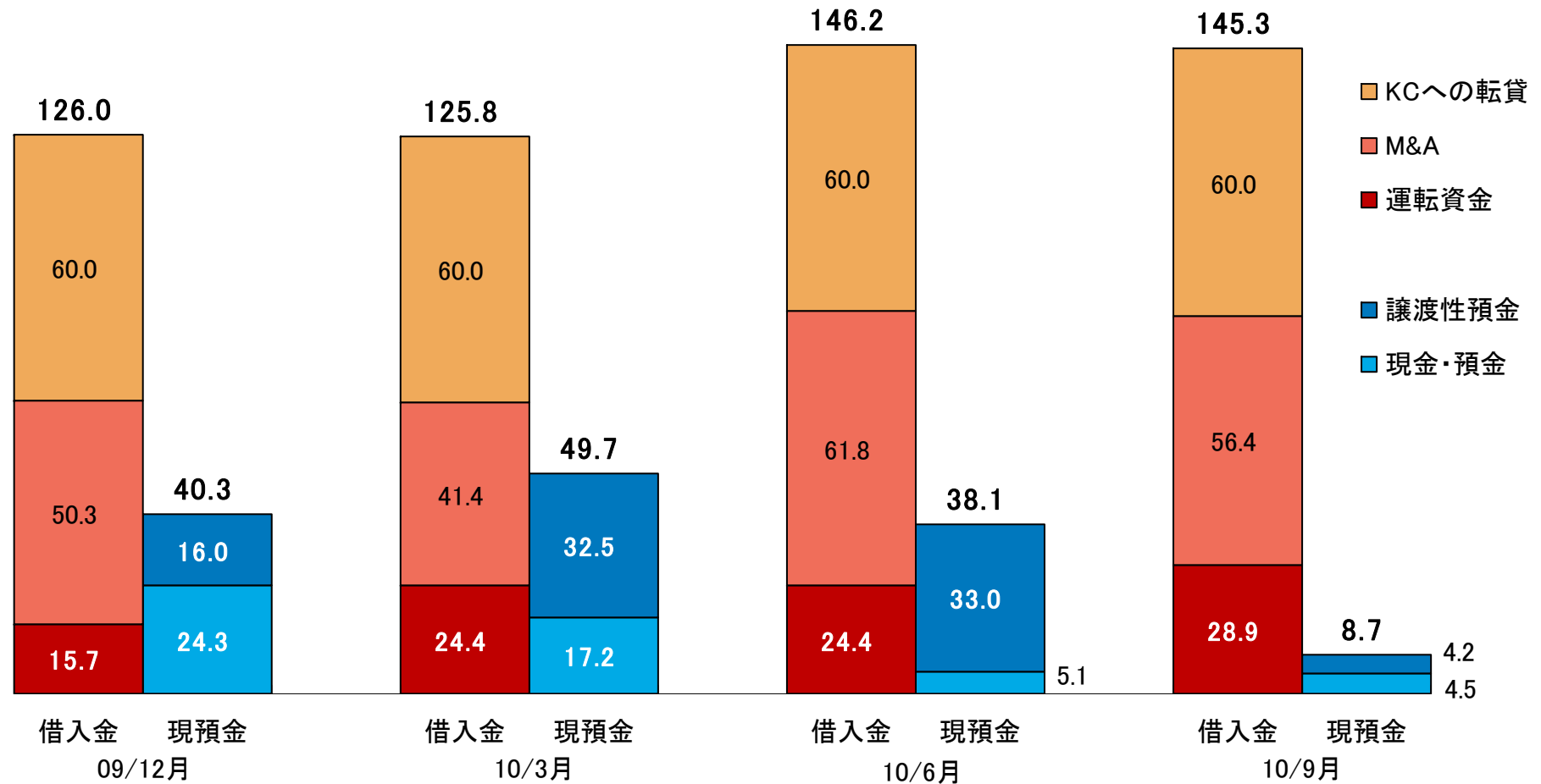
\*外部金融機関からの負債=社債+CP+短期借入金+長期借入金

# 楽天(単体)の借入金及び現預金の推移



(単位:十億円)

## 楽天株の資金使途別の借入金残高及び現預金の推移

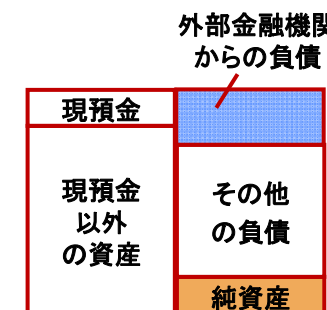


# 楽天グループのバランスシート概要(2010年9月末)



(単位:十億円)

【凡例】

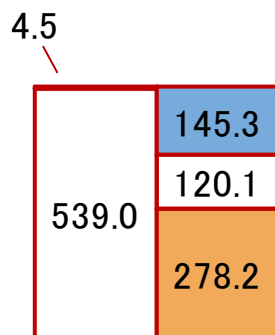


## 楽天(連結)



総資産  
1913.6

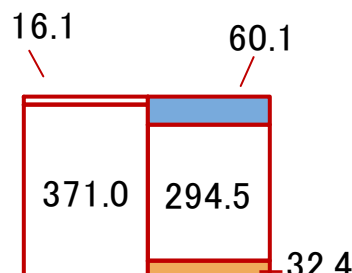
## 楽天(単体)



総資産  
543.6

\* 楽天証券の借入金の内、170億円はグループ内から

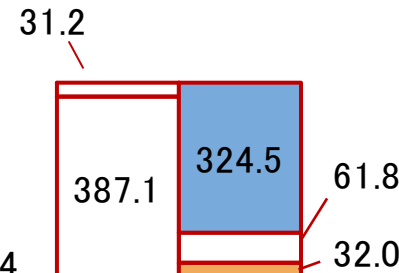
## 楽天証券



総資産  
387.2

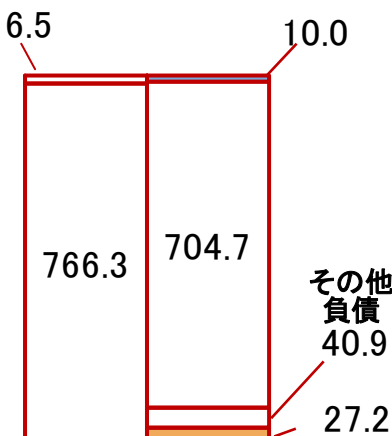
\* 楽天KCの借入金の内、955億円はグループ内から

## 楽天KC



総資産  
418.4

## 楽天銀行(連結)



総資産  
782.9

\*:楽天(単体)、楽天証券、楽天KC、楽天銀行は連結消去前の数字をベースにしたもので、グループ内取引を含む。

\*:外部金融機関からの負債=社債+CP+短期借入金+長期借入金



貸借対照表 (2010年9月30日)

(単位:十億円・億円未満切捨て)

<b>流動資産</b>	<b>87.5</b>	<b>流動負債</b>	<b>178.3</b>
現金及び預金	4.5	買掛金	2.7
売掛金	26.2	短期借入金	54.6
その他の流動資産	57.2	未払金	12.4
貸倒引当金	- 0.5	未払法人税等	7.6
		前受金	4.9
		ポイント引当金	11.3
		その他の流動負債	84.5
		<b>固定負債</b>	<b>87.0</b>
		<b>負債合計</b>	<b>265.4</b>
<b>固定資産</b>	<b>456.1</b>	<b>株主資本</b>	<b>276.8</b>
有形固定資産	5.8	資本金	107.6
無形固定資産	12.6	資本剰余金	112.8
投資その他の資産	437.6	利益剰余金	56.3
(内 貸倒引当金)	- 0.3	自己株式	- 0.0
(内 投資損失引当金)	- 1.4	<b>評価・換算差額等</b>	<b>0.4</b>
		その他有価証券評価差額	0.4
		<b>新株予約権</b>	<b>0.8</b>
		<b>純資産合計</b>	<b>278.2</b>
<b>資産合計</b>	<b>543.6</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>543.6</b>

損益計算書  
(2010年7月1日～9月30日)

(単位:十億円・億円未満切捨て)

<b>売上高</b>	<b>32.9</b>
売上原価	6.9
<b>売上総利益</b>	<b>25.9</b>
<b>販売費及び一般管理費</b>	<b>15.7</b>
人件費	6.2
広告宣伝費／販売促進費	4.3
減価償却費	1.4
通信費／保守費	1.0
委託費／外注費	3.4
その他	- 0.8
<b>営業利益</b>	<b>10.2</b>
営業外収益	0.3
営業外費用	0.4
<b>経常利益</b>	<b>10.1</b>
特別利益	- 0.0
特別損失	0.5
<b>税引前当期純利益</b>	<b>9.5</b>
法人税、住民税及び事業税	4.8
法人税等調整額	- 0.5
<b>当期純利益</b>	<b>5.3</b>

貸借対照表(2010年9月30日)

(単位:十億円)

<b>流動資産</b>	<b>374.7</b>	<b>流動負債</b>	<b>255.6</b>
現金・預金	31.2	信用保証買掛金	2.5
割賦売掛金	270.8	短期借入金	202.2
信用保証売掛金	2.5	その他流動負債	50.9
流動化受益債権	40.3		
その他流動資産	55.3	<b>固定負債</b>	<b>130.7</b>
貸倒引当金	-25.7	長期借入金	122.3
		利息返還損失引当金	7.3
		その他固定負債	1.0
<b>固定資産</b>	<b>43.7</b>	<b>負債合計</b>	<b>386.4</b>
有形固定資産	12.2	<b>株主資本</b>	<b>31.9</b>
土地・建物	11.6	資本金	3.0
その他固定資産	0.6	資本剰余金	41.1
無形固定資産	2.5	利益剰余金	3.5
投資その他	30.7	自己株式	-15.7
貸倒引当金	-1.8	評価・換算差額等	0.0
		<b>純資産合計</b>	<b>32.0</b>
<b>資産合計</b>	<b>418.4</b>	<b>負債・資本合計</b>	<b>418.4</b>

連結貸借対照表(2010年9月30日)

(単位:十億円・未満切捨て)

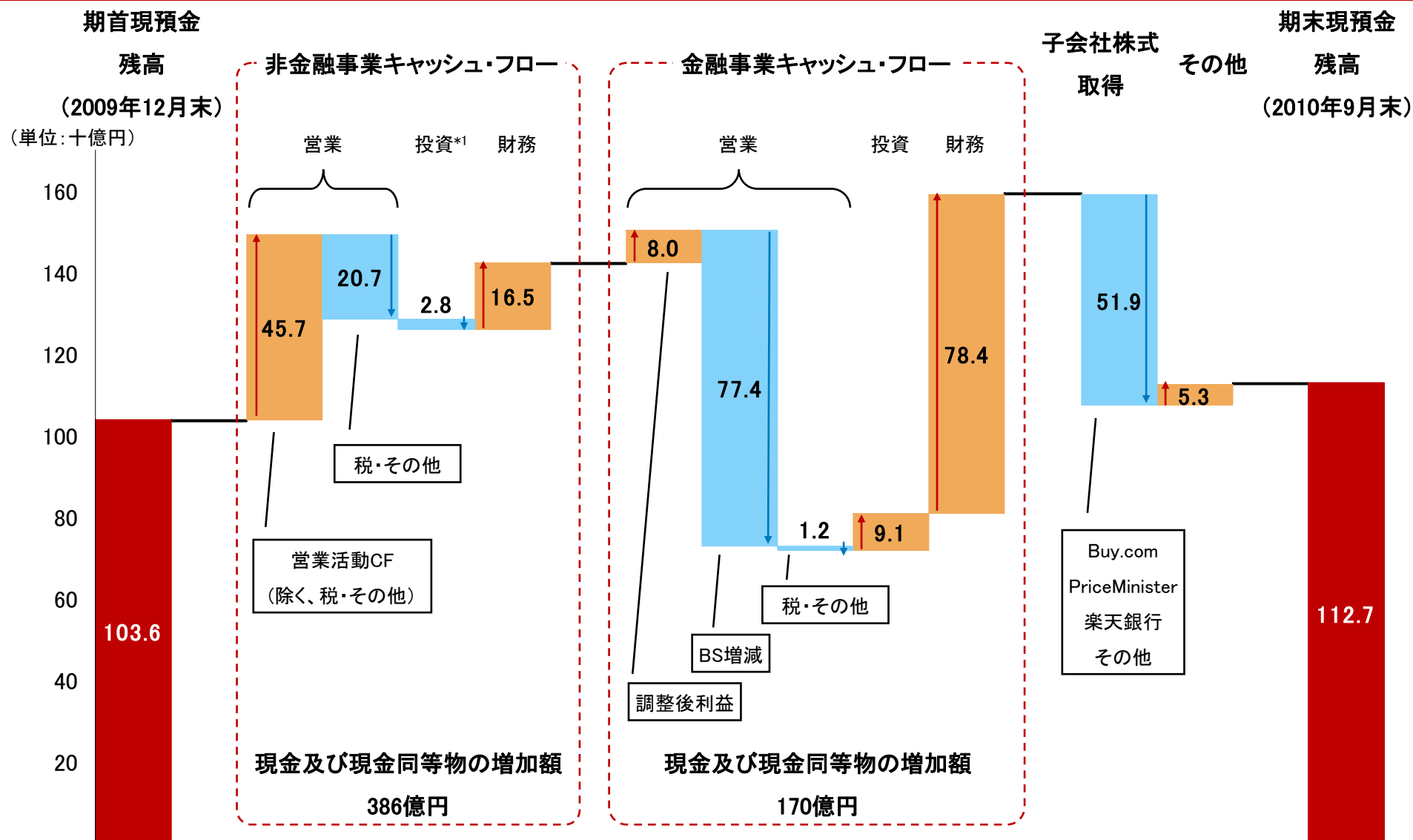
現金預け金	16.5	預金	704.7
コールローン	77.0	普通預金	303.2
買入金銭債権	179.6	定期預金	330.9
金銭の信託	11.7	その他の預金	70.5
有価証券	341.9	借入金	14.5
投資損失引当金	-	社債	10.0
貸出金	118.5	その他負債	19.2
外国為替	0.5	賞与引当金	0.1
その他資産	30.3	ポイント引当金	0.2
有形固定資産	0.5	偶発損失引当金	0.3
無形固定資産	4.8	特別法上の引当金	0.0
繰延税金資産	0.0	繰延税金負債	2.8
支払承諾見返	3.5	支払承諾	3.5
貸倒引当金	-2.3	負債合計	755.6
		資本金	23.4
		資本剰余金	-
		利益剰余金	3.0
		自己株式	-4.1
		株主資本合計	22.3
		その他有価証券評価差額金	4.6
		繰延ヘッジ損益	-
		評価・換算差額等合計	4.6
		少数株主持分	0.2
		純資産合計	27.2
資産合計	782.9	負債・純資産合計	782.9

連結損益計算書  
(2010年7月1日～9月30日)

(単位:十億円・未満切捨て)

経常収益	8.8
資金運用収益	4.5
(貸出金利息)	2.6
(有価証券利息配当金)	1.0
役務取引等収益	3.2
その他業務収益	0.9
その他経常収益	0.1
経常費用	8.7
資金調達費用	0.9
(預金利息)	0.7
役務取引等費用	2.3
その他業務費用	1.8
営業経費	3.6
その他経常費用	-0.0
経常損益	0.1
特別利益	-
特別損失	0.0
税前損益	0.1
法人税	0.0
法人税等調整額	0.0
少数株主持分損益	-0.0
当期純損益	0.1

# キャッシュフローの状況：2010年1月～9月累計



\*1：非金融事業の投資キャッシュフロー(-548億円)のうち、子会社株式取得に伴う収入及び支出(-519億円)を除いたもの

# キャッシュ・フローの概要:2010年1月~9月累計(1)



\*金融/非金融の区分は、概算値

(単位:十億円)

開示科目	連結	金融	非金融	その他
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前当期純利益	43.0	6.6	36.3	-
のれん償却額	5.1	2.3	2.8	-
減価償却費	12.1	5.3	6.7	-
銀行業における有価証券評価損益(益)	2.4	2.4	-	-
銀行業における有価証券売却損益(益)	(0.0)	(0.0)	-	-
貸倒引当金の増減額(減少)	(6.1)	(5.8)	(0.3)	-
利息返還損失引当金の増減額(減少)	(2.9)	(2.9)	-	-
その他の損益(益)	5.0	-	-	5.0
売上債権の増減額(増加)	0.8	0.0	0.7	-
割賦売掛金の増減額(増加)	(18.2)	(18.2)	-	-
資産流動化受益債権の増減額(増加)	1.3	1.3	-	-
銀行業における預金の増減額(減少)	1.0	1.0	-	-
銀行業におけるコールローンの純増減額(増加)	(27.0)	(27.0)	-	-
銀行業における貸出金の増減額(増加)	(16.6)	(16.6)	-	-
仕入債務の増減額(減少)	(3.6)	(1.4)	(2.2)	-
未払金及び未払費用の増減額(減少)	(4.2)	(5.2)	0.9	-
証券業における営業債権の増減額(増加)	(3.0)	(3.0)	-	-
証券業における営業債務の増減額(減少)	(33.9)	(33.9)	-	-
証券業における有価証券担保借入金の増減額(減少)	23.3	23.3	-	-
営業貸付金の増減額(増加)	1.8	1.8	-	-
その他	1.0	0.3	0.7	-
<b>小計</b>	<b>(18.6)</b>	<b>(69.4)</b>	<b>45.7</b>	<b>5.0</b>
営業保証金の支払額	(4.5)	(4.5)	0.0	-
営業保証金の受取額	3.2	3.2	0.0	-
法人税等の支払額	(20.4)	0.2	(20.7)	-
その他	(0.2)	(0.2)	-	-
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>(40.5)</b>	<b>(70.6)</b>	<b>25.0</b>	<b>5.0</b>

# キャッシュ・フローの概要:2010年1月～9月累計(2)

\*金融／非金融の区分は、概算値

(単位:十億円)

開示科目	連結	金融	非金融	その他
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
定期預金の預入による支出	(5.4)	(5.3)	(0.1)	-
定期預金の払戻による収入	3.1	2.8	0.3	-
有形固定資産の取得による支出	(4.2)	(0.2)	(3.9)	-
無形固定資産の取得による支出	(10.9)	(4.3)	(6.5)	-
銀行業における有価証券の取得による支出	(276.8)	(276.8)	-	-
銀行業における有価証券の売却及び償還による収入	293.1	293.1	-	-
投資有価証券の買取請求に伴う一部弁済による入金額	8.8	-	8.8	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	7.0	-	7.0	-
子会社株式の取得による支出	(18.8)	-	(18.8)	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	(40.1)	-	(40.1)	-
その他の支出	(3.5)	(0.6)	(2.9)	-
その他の収入	1.6	0.7	0.9	-
利息及び配当金の受取額	0.5	-	0.5	-
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>(45.6)</b>	<b>9.1</b>	<b>(54.8)</b>	<b>-</b>
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
短期借入金の純増減額(減少)	57.1	45.3	11.8	-
コマーシャル・ペーパーの増減額(減少)	30.7	30.7	-	-
長期借入れによる収入	76.2	53.0	23.2	-
長期借入金の返済による支出	(61.0)	(45.9)	(15.0)	-
社債の発行による収入	1.4	-	1.4	-
社債の償還による支出	(6.2)	(4.0)	(2.2)	-
子会社の自己株式の取得による支出	(0.0)	(0.0)	-	-
利息の支払額	(1.1)	-	(1.1)	-
少数株主からの払込みによる収入	0.0	0.0	0.0	-
配当金の支払額	(1.3)	-	(1.3)	-
少数株主への配当金の支払額	(0.2)	(0.2)	-	-
その他	(0.3)	(0.3)	(0.0)	-
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>95.0</b>	<b>78.4</b>	<b>16.5</b>	<b>-</b>
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	(0.4)	-	(0.4)	-
<b>V 現金及び現金同等物の増減額(減少)</b>	<b>8.3</b>	<b>17.0</b>	<b>(13.7)</b>	<b>5.0</b>
VI 現金及び現金同等物の期首残高	103.6	-	-	-
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	0.7	-	-	-
IX 現金及び現金同等物の期末残高	112.7	-	-	-

## その他の参考資料

			09/3Q（7月-9月）			10/3Q（7月-9月）				
			売上高	営業利益	営業利益率	売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比	営業利益率
ネットサービス	EC トラベル ポータル・メディア	ネット*1	36.5	11.4	31.4%	45.6	24.8%	12.9	13.0%	28.4%
		グロス (会計上)	41.6	11.4	27.6%	51.6	24.1%	12.9	13.0%	25.1%
ネット金融	クレジットカード 銀行 証券 電子マネー*2		29.5	3.0	10.3%	32.5	10.2%	1.6	-44.6%	5.2%
その他	通信 プロスポーツ		9.8	0.7	7.6%	8.8	-9.8%	0.8	8.8%	9.2%
全社・内部消去			-3.7	0.0	-	-4.5	-	0.4	-	-
連結		ネット*1	72.1	15.1	21.0%	82.4	14.2%	15.9	5.0%	19.4%
		グロス (会計上)	77.2	15.1	19.7%	88.4	14.5%	15.9	5.0%	18.0%

\*1（参考情報）：EC事業セグメント内の直販型のビジネスモデル（パッケージメディア事業）の粗利を売上高とみなして表示

\*2：10/1Qよりビットワレット（株）連結開始



# 各セグメントと事業との対応表\*1

EC事業
楽天市場*2
国際市場統括*2
物流*2
チェックアウト*2
ダイニング
ビジネスサービス*2
オート*2
デリバリー*2
ネットスーパー
ゴルフ*2
パッケージメディア*2
オークション
チケット*2
国際ネットマーケティング*5
競馬モール*2

クレジットカード事業
KC

電子マネー事業*3
Edy事業

銀行事業
銀行
パーソナルファイナンス
toto*4

ポータル・メディア事業
インフォシーク
ブログ
写真館
みんなの就職
ツールバー*3
コンテンツ*6
広告
ネットマーケティング*4
リサーチ
マリッジ (オーネット)
ウェディング*3

トラベル事業
トラベル

証券事業
証券
保険

プロスポーツ事業
プロスポーツ

通信事業
電話(フュージョン・コミュニケーションズ)

\*1: 一部の新規事業を除く、2010年9月末

\*2: 楽天(株)のEC事業

\*3: 2010/1Qより新設

\*4: 2010/2Qより新設

\*5: 2010/2Qより組織変更

\*6: 2010/3Qより組織変更

# のれん償却費の内訳



(単位:百万円)

事業セグメント	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q	主な対象会社
EC	542	542	691	599	832	581	1,055	LinkShare Buy.com PriceMinister リンクシェア・ジャパン FreeCause
カード	246	246	246	290	246	246	246	楽天KC
電子マネー	-	-	-	-	30	58	15	ビットワレット
銀行	175	308	293	273	282	429	435	楽天銀行
ポータル・メディア	44	78	61	61	81	61	61	オーネット ショウタイム
トラベル	12	12	12	12	12	12	12	楽天トラベル
証券	95	95	189	95	95	99	169	楽天証券 ドットコモディティ
プロスポーツ	-0	-0	-0	-0	-0	-0	-20	楽天スポーツプロパティーズ
通信	-4	-6	-2	-5	-5	-5	-5	フュージョン・コミュニケーションズ
連結	1,111	1,276	1,492	1,327	1,575	1,483	1,970	

\*:連結財務諸表上は販売費及び一般管理費に含む

## 設備投資\*の実績

(単位：十億円)

		2009年				2010年			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
		稼動ベース				稼動ベース	取得ベース	取得ベース	
単体	ハードウェア	0.14	0.09	0.17	0.17	1.15	1.59	0.83	1.14
	ソフトウェア	0.63	0.90	0.76	1.25	1.13	1.39	1.48	1.96
	合計	0.77	1.00	0.94	1.42	2.28	2.98	2.32	3.10
連結	ハードウェア	0.99	0.59	0.42	0.45	1.87	2.81	1.26	1.71
	ソフトウェア	2.68	1.61	2.38	2.70	3.12	3.47	3.10	4.12
	合計	3.68	2.21	2.80	3.15	5.00	6.29	4.37	5.83

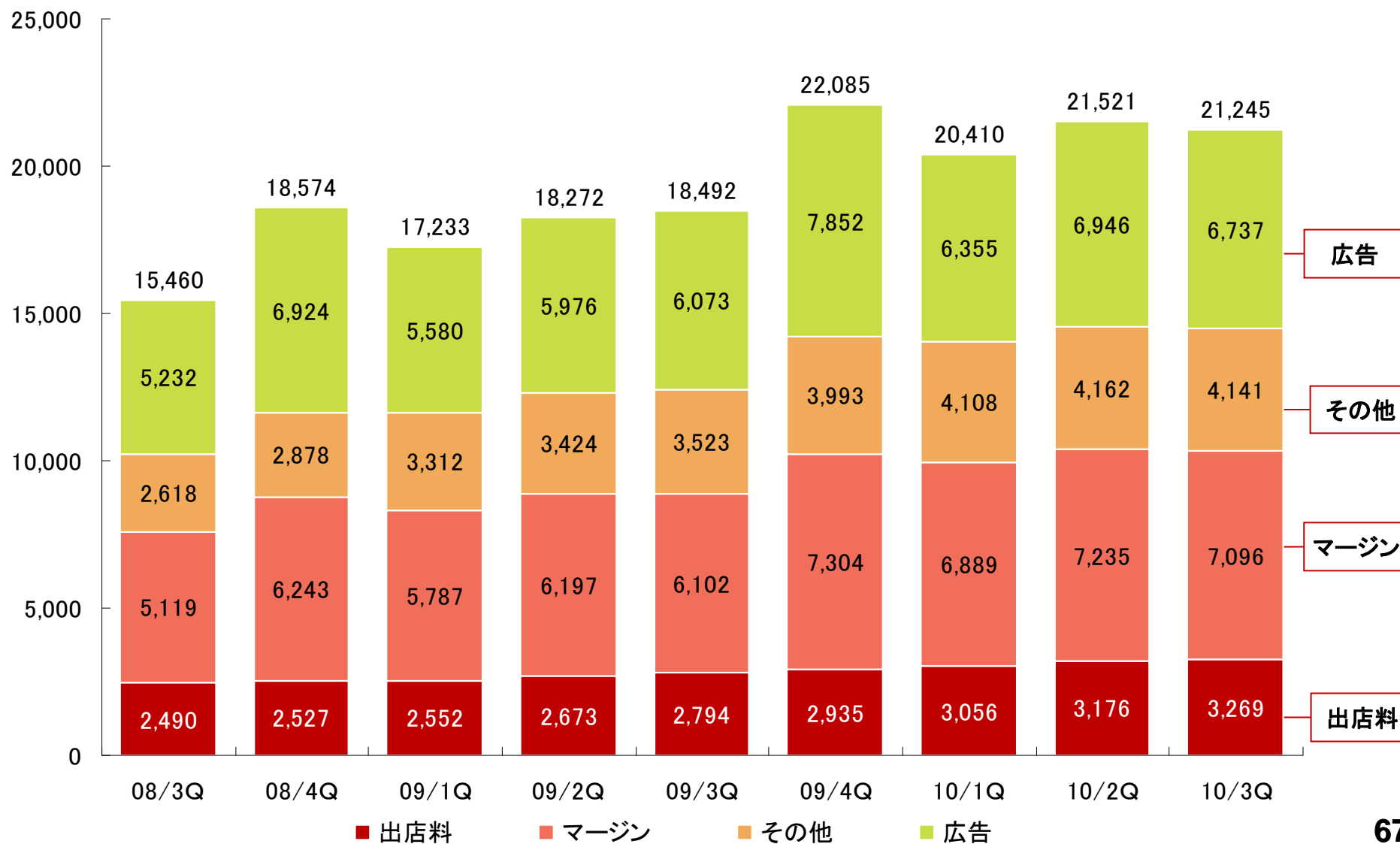
\*: 2009年4Q以前: 稼動ベース(楽天野球団除く)で集計

\*: 2010年1Q以降: 取得ベース(楽天野球団含む)で集計

# 楽天市場 売上高構成の推移



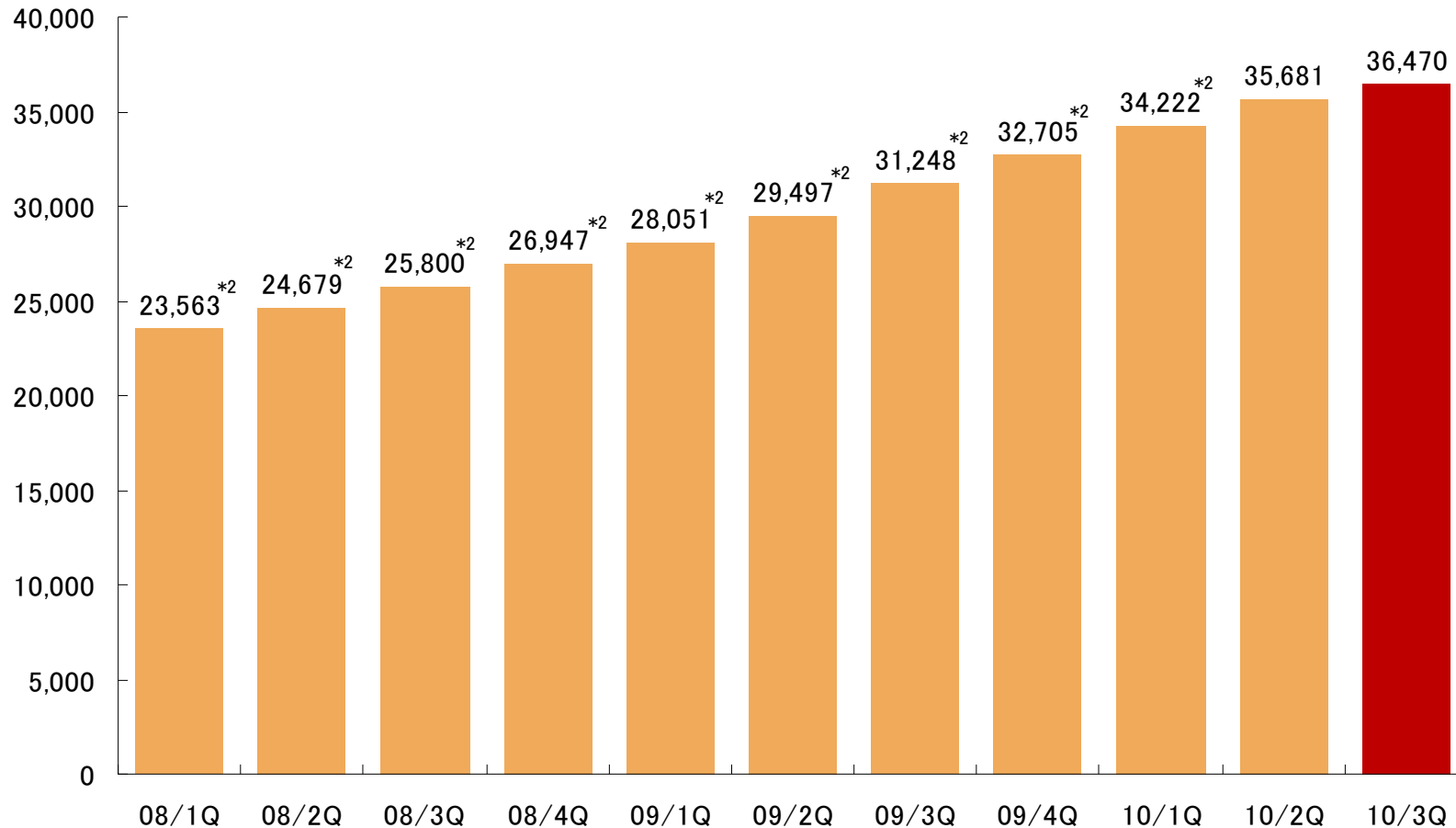
(単位: 百万円)



## 出店店舗数の推移\*1

■ 出店店舗数(契約店舗数)は成長し+16.7%(前年同期比)、3万6,000店を突破

(出店店舗数:店)



\*1: 出店数の表示方法変更: 09/3Q開示より従来の各四半期の最終月に月額利用料を課金している店舗数をベースとする「課金店舗数」から、各四半期末の「契約済店舗数」に遡及して変更

\*2: 過去に開示を行った10/1Q以前の数値を遡及して修正

損益計算書 概要

(単位:十億円)

	2009(7-9) 前年同四半期	2010(4-6) 前四半期	2010(7-9) 当四半期
営業収益	15.0	16.4	16.6
営業費用	14.0	16.0	15.3
販売費及び一般管理費	12.1	14.2	13.5
金融費用	1.8	1.8	1.7
営業利益	1.0	0.4	1.2
営業外損益	0.0	0.0	0.0
経常利益	1.0	0.4	1.2
特別損益	-0.1	0.0	-0.1
税引前純利益	0.9	0.4	1.1
法人税等調整額	-0.9	0.2	-0.3
四半期純損益	1.8	0.1	1.5

流動化影響前の経常利益	1.3	0.4	1.2
-------------	-----	-----	-----

# 楽天KC 営業収益・経費



(単位:百万円)

	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q		
						実績	構成比	前年同四半期比
<b>営業収益</b>								
総合あっせん	4,596	4,996	5,830	6,205	6,995	7,708	46.4%	54.2%
カードショッピング	4,561	4,965	5,803	6,180	6,971	7,685	46.3%	54.7%
その他	35	30	27	25	23	22	0.1%	- 25.6%
融資	7,720	7,303	6,840	6,347	6,056	5,569	33.5%	- 23.7%
カードキャッシング	(7,211)	(7,005)	(6,793)	(6,233)	(6,046)	(5,559)	33.5%	- 20.6%
ローンカード	4,773	4,549	4,267	3,949	3,804	3,536	21.3%	- 22.2%
その他融資	(4,346)	(4,403)	(4,267)	(3,949)	(3,804)	(3,536)	21.3%	- 19.7%
ローンカード	2,911	2,721	2,542	2,371	2,228	2,012	12.1%	- 26.0%
その他融資	(2,829)	(2,569)	(2,496)	(2,257)	(2,217)	(2,002)	12.1%	- 22.0%
その他融資	35	32	29	26	23	20	0.1%	- 36.4%
個品あっせん	0	0	0	0	0	0	-	- 50.5%
信用保証	264	255	247	240	231	224	1.4%	- 12.1%
その他	2,553	2,830	2,834	2,890	3,159	3,101	18.6%	9.5%
金融収益	34	7	17	9	36	9	0.1%	20.4%
営業収益合計	15,169	15,394	15,771	15,694	16,479	16,612	100.0%	7.9%
	(14,660)	(15,096)	(15,725)	(15,579)	(16,468)	(16,602)	-	9.9%
<b>営業費用</b>								
人件費	1,430	1,477	1,469	1,467	1,508	1,547	10.1%	4.7%
一般経費	6,500	6,628	7,505	8,412	8,961	8,900	58.0%	34.2%
金融費用	1,881	1,883	1,744	1,968	1,834	1,755	11.4%	- 6.7%
貸倒関連費用	4,007	4,025	3,738	3,402	3,743	3,143	20.5%	- 21.9%
利息返還関連費用	0	0	0	0	0	0	-	-
キャッシュアウト分	0	0	0	0	0	0	-	-
債権充当分	0	0	0	0	0	0	-	-
営業費用合計	13,820	14,015	14,458	15,250	16,048	15,348	100.0%	9.5%
営業利益	840	1,080	1,267	329	420	1,254	-	16.1%

■取扱高内訳

(単位:百万円)

	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q		
						実績	構成比	前年同四半期比
総合あっせん	156,316	167,515	195,541	208,422	238,919	260,236	94.4%	55.3%
カードショッピング	155,776	166,940	194,981	207,821	238,311	259,595	94.2%	55.5%
その他	539	574	559	601	607	641	0.2%	11.6%
融資	20,154	19,558	18,948	18,613	17,410	11,134	4.0%	-43.0%
カードキャッシング	14,369	14,057	13,915	13,837	13,569	9,732	3.5%	-30.7%
ローンカード	5,785	5,501	5,033	4,775	3,841	1,401	0.5%	-74.5%
個品あっせん	14	7	5	4	5	4	0.0%	-37.5%
信用保証	1,026	1,077	1,029	1,139	867	1,092	0.4%	1.4%
その他	2,387	3,265	3,456	3,443	3,408	3,306	1.2%	1.2%
取扱高合計	179,900	191,423	218,981	231,623	260,610	275,774	100.0%	44.0%

■カード有効会員数

(単位:万人)

	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q	
						実績	前年同四半期比
クレジットカード	409	429	448	480	515	541	25.9%
ローンカード	37	36	35	34	32	32	- 11.6%



(単位:百万円)

	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q		
						実績	構成比	前年同四半期比
総合あっせん	107,929	114,591	135,686	143,922	160,499	172,945	46.0%	50.9%
カードショッピング	106,462	113,368	134,639	143,025	159,717	172,238	45.8%	51.9%
カードショッピング流動化	29,540	69,562	75,786	72,969	87,961	97,477	25.9%	40.1%
(内、オフバランス流動化債権)	( 100)	( 38,100)	( 42,626)	( 38,557)	( 52,763)	(61,682)	-	61.8%
(内、オンバランス流動化債権)	(29,440)	(31,462)	(33,159)	(34,411)	(35,197)	(35,794)	-	13.7%
カードショッピングリボ(元本)	49,331	55,114	63,168	71,381	79,989	88,419	23.5%	60.4%
その他	1,467	1,222	1,047	896	781	706	0.2%	- 42.1%
融資	204,122	197,810	191,238	186,075	179,294	169,799	45.1%	- 14.1%
カードキャッシング	91,395	87,790	83,384	80,687	76,589	71,301	19.0%	- 18.7%
(内、オフバランス流動化債権)	(26,303)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	-	-
ローンカード	72,029	67,823	62,930	59,103	54,369	48,723	12.9%	- 28.1%
(内、オフバランス流動化債権)	( 26,651)	( 19,515)	( 18,244)	( 9,048)	( 9,775)	(8,667)	-	- 55.5%
(内、オンバランス流動化債権)	( 25,414)	( 26,277)	( 25,322)	( 23,838)	( 22,337)	(21,641)	-	- 17.6%
その他融資	40,697	42,196	44,922	46,284	48,336	49,773	13.2%	17.9%
個品あっせん	1,111	1,046	990	947	887	854	0.2%	- 18.3%
信用保証	36,945	35,782	34,437	33,542	32,254	31,363	8.3%	- 12.3%
(内、オフバランス)	(33,815)	(32,801)	(31,603)	(30,822)	(29,618)	(28,828)	-	- 12.1%
その他(オフバランス)	4,720	3,919	3,102	2,433	1,866	1,406	0.4%	- 64.1%
営業債権残高合計(オフバランス含む)	354,830	353,150	365,455	366,921	374,803	376,369	100.0%	6.5%
(貸借対照表表示残高)	263,239	258,812	269,877	286,059	280,779	275,783	-	-

流込残高

(単位:百万円)

	09/3Q			10/3Q			前年同四半期比		
	7月	8月	9月	7月	8月	9月	7月	8月	9月
当月未収 <sup>*</sup>	4,003	3,134	3,933	4,260	3,309	4,151	257	175	218
未収1→2	2,573	2,575	2,314	2,228	2,541	2,391	-345	-34	77
未収2→3	2,357	2,294	2,336	1,898	1,893	2,135	-459	-401	-201
未収3→4	2,250	2,113	2,043	1,691	1,633	1,682	-559	-480	-361

\*: 当月未収・・・請求時に口座から引落としができなかった契約の残高。そのまま一ヶ月経過すれば未収1となる。

# 楽天KC 債務者区分別債権及び貸倒関連費用

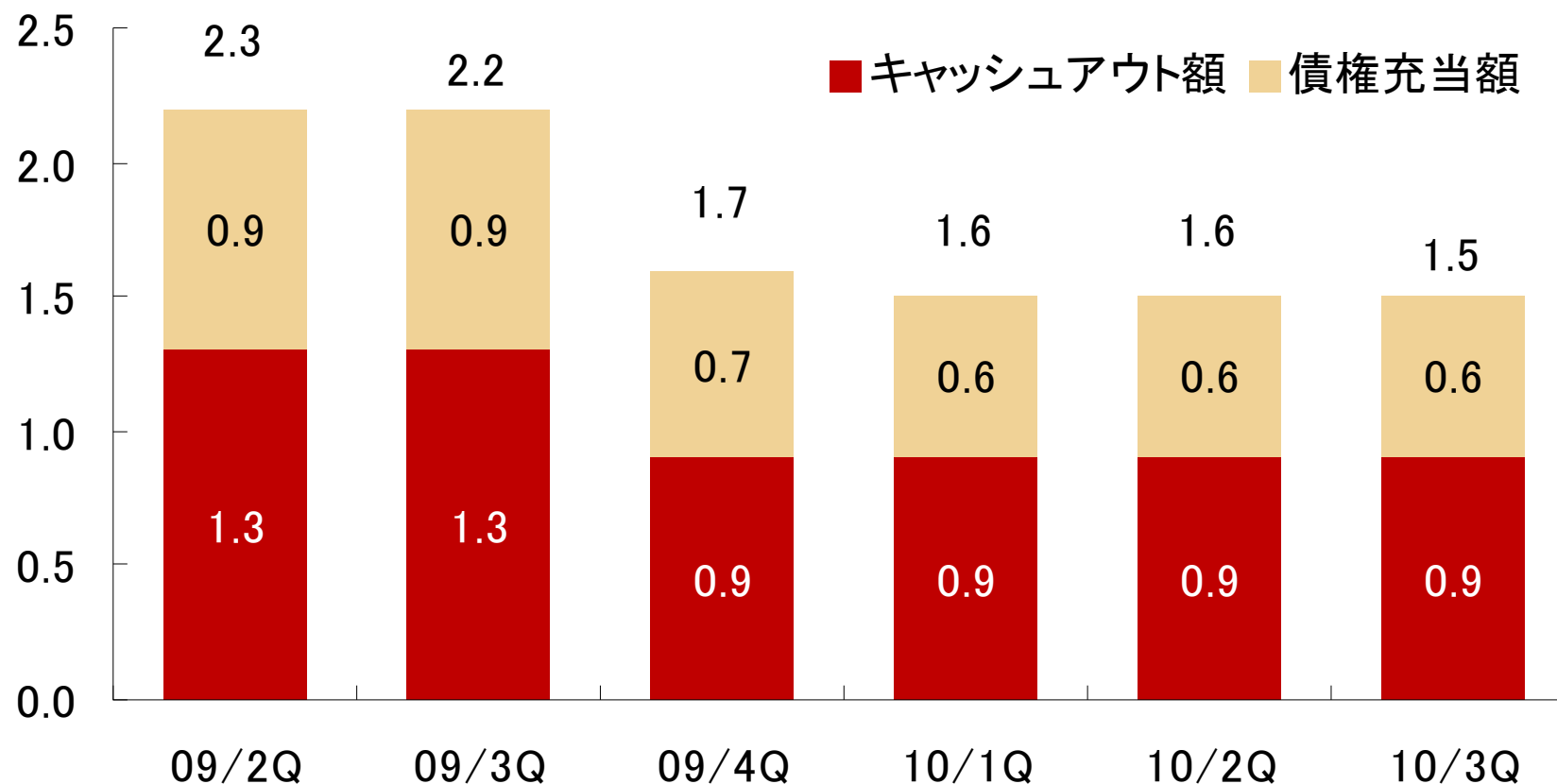


(単位: 百万円)

	09/6月	09/9月	09/12月	10/3月	10/6月	10/9月
破綻先	16	16	16	16	17	17
実質破綻先	34,922	33,688	32,868	31,388	28,639	27,148
破綻懸念先	8,329	8,588	6,729	6,005	5,438	5,607
要注意先	6,391	5,452	4,582	4,693	4,520	4,387
正常先	268,856	269,578	286,038	290,331	302,671	306,456
小計	318,514	317,322	330,233	332,433	341,285	343,615
有担保	5,627	5,623	5,508	5,331	5,238	5,102
合計	324,141	322,945	335,741	337,764	346,523	348,717
貸倒引当率	10.48%	10.11%	9.40%	8.95%	8.37%	7.91%
債権充当含まず	6.77%	6.68%	6.34%	6.11%	5.79%	5.53%
貸倒償却額(利息返還を除く)	5,024	5,338	4,819	4,740	4,983	4,588
貸倒引当	-70	-438	-306	-652	-600	-820
貸倒引当金 残高	33,964	32,638	31,561	30,228	28,996	27,578
債権充当含まず	21,952	21,561	21,284	20,636	20,064	19,285
貸倒関連費用	4,007	4,025	3,738	3,403	3,743	3,143
貸倒償却率(四半期ベース)	1.55%	1.65%	1.44%	1.40%	1.44%	1.32%

■ 利息返還請求は、2009年第4四半期より減少。トレンドを維持。

(単位:十億円)



\* 請求によるキャッシュアウト額及び債権充当(元本免除)額を含む。08/1Q以降、引当金の目的取崩しとして処理し、PL上の費用計上はゼロ

■ 利息返還額及び債権充当額は減少傾向

(単位:十億円)

		09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q
利息返還引当金	過払い返還請求に伴う「キャッシュアウト分」	12.5	11.1	10.2	9.2	8.2	7.3
	過払い返還請求に伴う「債権充当分」	12.0	11.0	10.2	9.5	8.9	8.2
	上記以外の貸倒引当金	21.9	21.6	21.2	20.6	20.0	19.2
貸倒引当金 計		33.9	32.6	31.5	30.2	28.9	27.5
利息返還引当金+貸倒引当金		46.4	43.7	41.8	39.5	37.2	34.9

過払い関連引当金 156億円  
↑  
2.5年分\*1

過払い返還請求に伴う返還額等\*2

(単位:十億円)

	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q
キャッシュアウト額	1.3	1.3	0.9	0.9	0.9	0.9
債権充当額	0.9	0.9	0.7	0.6	0.6	0.6
利息返還実績 計	2.3	2.2	1.7	1.6	1.6	1.5

\*1: 過払い関連の引当金 ÷ (直近四半期の過払い返還請求に伴うキャッシュアウト額及び債権充当額 × 4)

\*2: 08/1Q以降、引当金の目的取崩しとして処理し、費用計上はゼロ

(単位:百万円)

	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q
決済事業	1,222	1,229	1,217	1,644	1,554	1,430
カード事業	21	282	405	483	400	309
金融商品事業	484	470	480	488	632	503
その他	-8	23	47	95	148	268
①手数料関連収支	1,720	2,005	2,150	2,711	2,735	2,512
②運用関連収支	966	1,302	1,510	1,567	1,519	1,367
③営業経費	2,766	2,835	2,808	2,962	3,206	3,004
基礎収支(ローン事業を除く) <sup>*1</sup>	-79	472	853	1,316	1,047	875
ローン事業基礎収支	275	336	452	31	188	436
基礎収支合計(A)	196	809	1,305	1,347	1,236	1,312
非基礎収支合計(B) <sup>*2</sup>	-164	-1,380	59	-407	-127	-1,167
経常利益(A+B)	31	-571	1,365	939	1,108	144
連結調整差額 <sup>*3</sup>	487 <sup>*4</sup>	1,280 <sup>*5</sup>	-124 <sup>*6</sup>	-465 <sup>*7</sup>	-495 <sup>*8</sup>	-435 <sup>*9</sup>

\*1:基礎収支=投資等による一時的な損益以外の本業での収支。経常損益より投資運用の時価変動・売却等により発生した損益を控除したものの。

\*2:非基礎収支=投資運用の時価変動・売却等により発生した損益等による収支。

\*3:楽天銀行(連結)の経常利益と楽天グループ銀行事業セグメントにおける営業利益との差額。

\*4:09/2Qの連結調整差額の内訳=のれん償却-3.0億円、有価証券取得簿価差異による連結調整3.7億円、内部取引等その他連結調整4.2億円

\*5:09/3Qの連結調整差額の内訳=のれん償却-2.9億円、有価証券取得簿価差異による連結調整9.4億円、内部取引等その他連結調整6.2億円

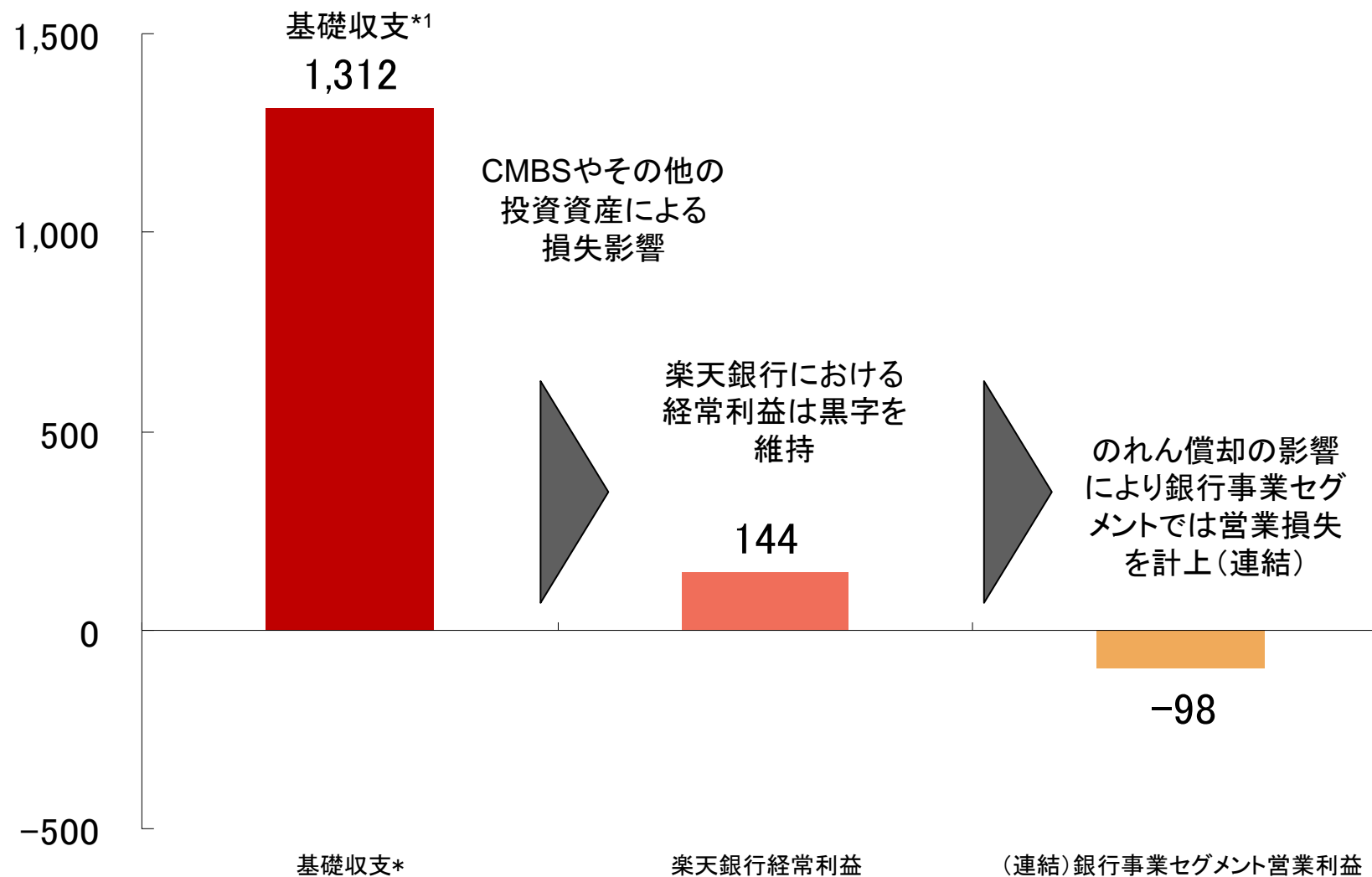
\*6:09/4Qの連結調整差額の内訳=のれん償却-2.7億円、有価証券取得簿価差異による連結調整0.4億円、内部取引等その他連結調整1.0億円

\*7:10/1Qの連結調整差額の内訳=のれん償却-2.8億円、有価証券取得簿価差異その他連結調整-1.8億円

\*8:10/2Qの連結調整差額の内訳=のれん償却-4.2億円、有価証券取得簿価差異その他連結調整-0.7億円

\*9:10/3Qの連結調整差額の内訳=のれん償却-4.3億円

(単位:百万円)



\*:基礎収支=投資等による一時的な損益以外の本業での収支。経常損益より投資運用の時価変動・売却等により発生した損益を控除したものの。

# 楽天銀行(単体) 運用資産及び預金の状況



(単位:十億円)

	09/12月末 時価残高	10/9月末 時価残高	増減額	引当金	含み損益 (連結基準)	含み損益 (楽天銀行基準)
国債・地方債・公社債	358.9	316.1	-42.8	0.0	4.2	7.4
国債	213.1	154.9	-58.1	-	3.3	6.8
その他* <sup>1</sup>	145.8	161.1	15.3	0.0	0.9	0.5
貸出金	95.1	113.1	18.0	1.0	-	-
株式等	1.4	0.4	-0.9	-	0.0	-0.0
証券化(貸付債権)	173.5	187.1	13.6	0.0	0.4	0.5
ファンド等	9.4	7.5	-1.8	-	0.1	0.1
ヘッジファンド	5.7	4.0	-1.6	-	-0.0	0.0
その他	3.7	3.5	-0.1	-	0.1	0.1
証券化(不動産)	30.1	17.4	-12.6	1.2	-0.1	-0.5
私募ファンド* <sup>2</sup>	13.4	6.7	-6.6	1.2	-0.1	-0.1
CMBS(時価有)	16.7	10.7	-6.0	-	-0.0	-0.4
CDO	3.9	4.6	0.6	-	0.0	0.0
合計	672.6	646.6	-26.0	2.3	4.6	7.5

\*1: 国債・地方債・公社債のその他には、政府保証債、地方債、公社公団債等を含む

\*2: 20010年4月より一部時価評価を適用

(単位:十億円)

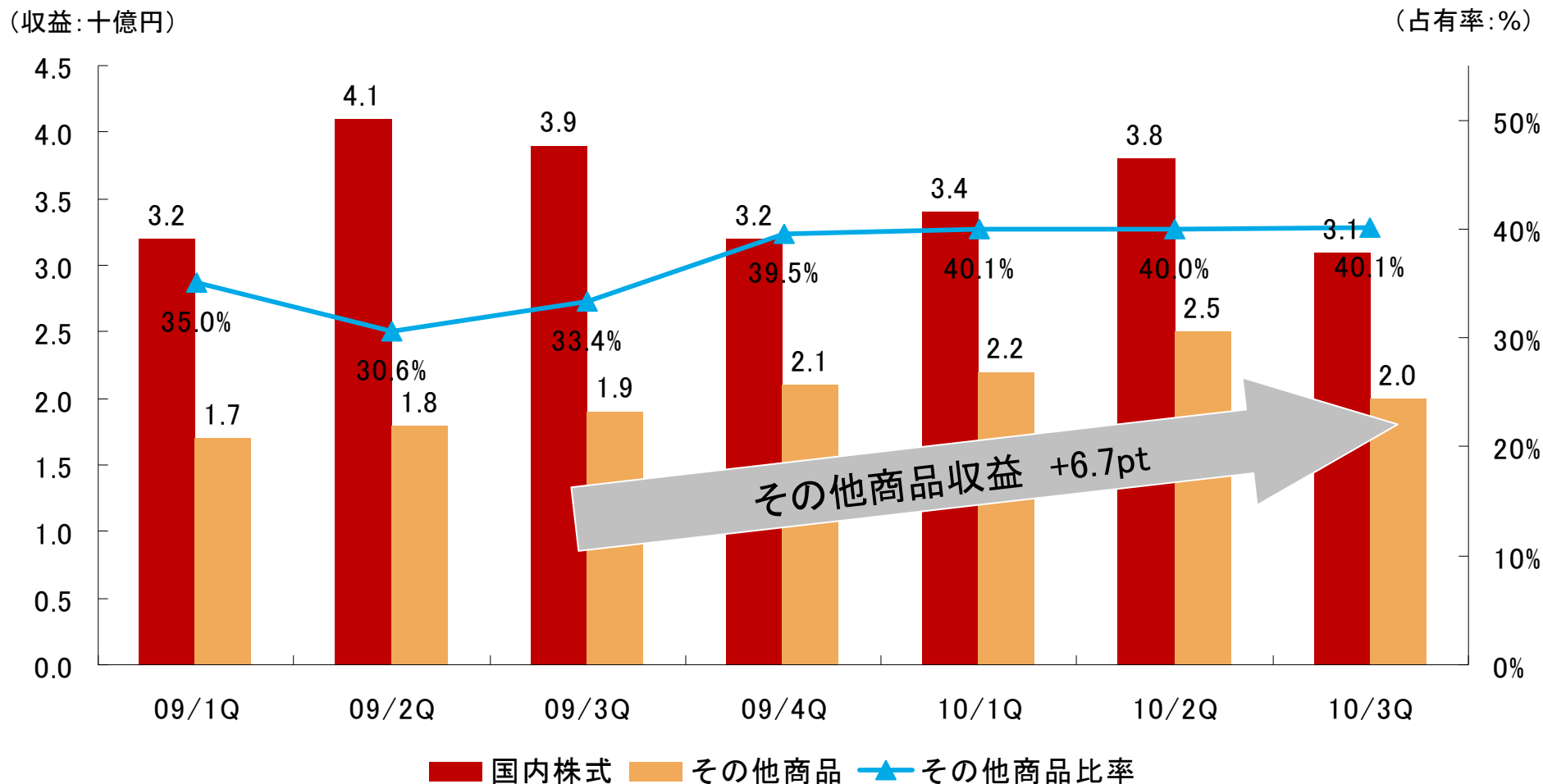
	09/12月末残高	10/9月末残高	増減額
預金残高* <sup>1</sup> 合計	701.7	705.7	3.9
普通預金	285.7	304.2	18.4
定期預金	350.2	330.9	-19.2
その他預金* <sup>2</sup>	65.7	70.5	4.7

\*1: 楽天銀行(単体)の預金残高を記載

\*2: その他預金には別段預金の他、外貨預金等を含む



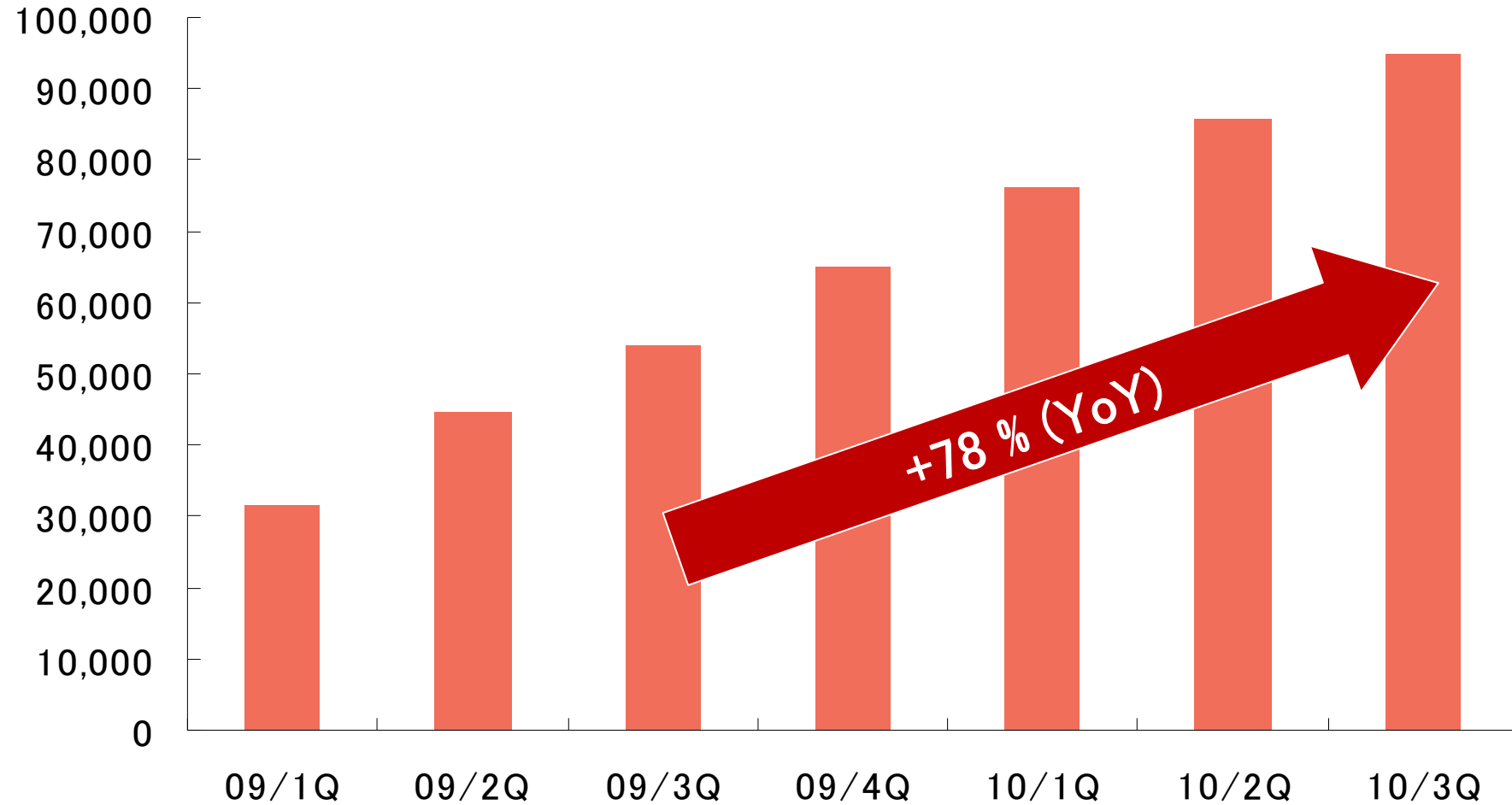
■ 営業収益における国内株式以外の商品の収益貢献度は40%を継続



出典:楽天証券におけるデータ分析結果

■ 投資信託残高+78.0%(前年同期比)を達成

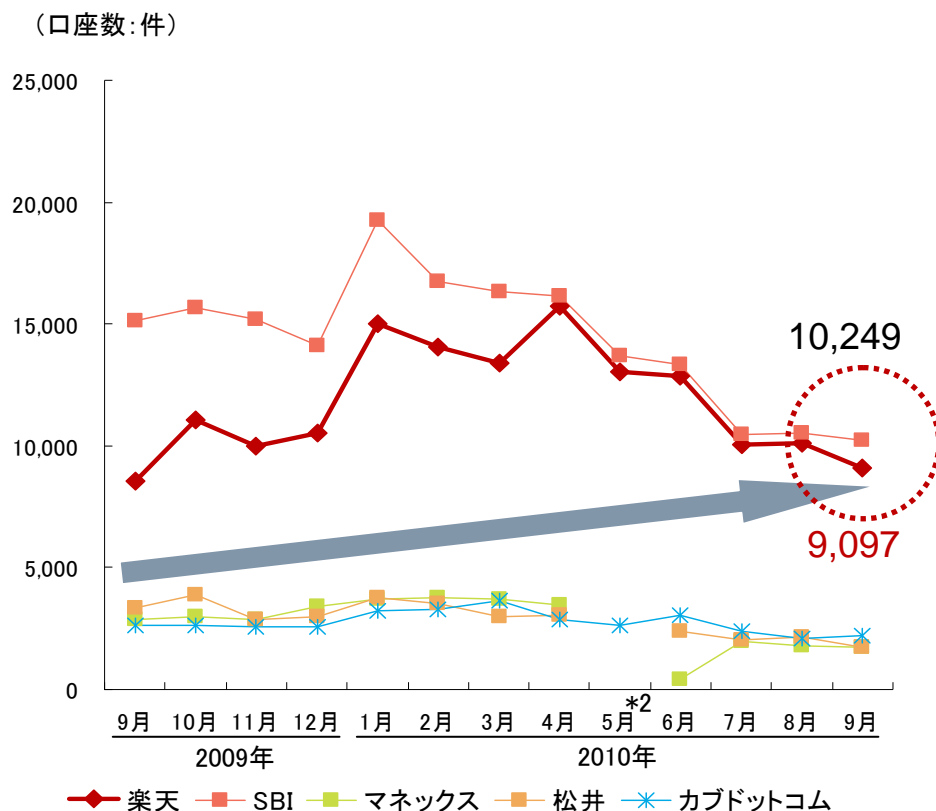
(残高:百万円)



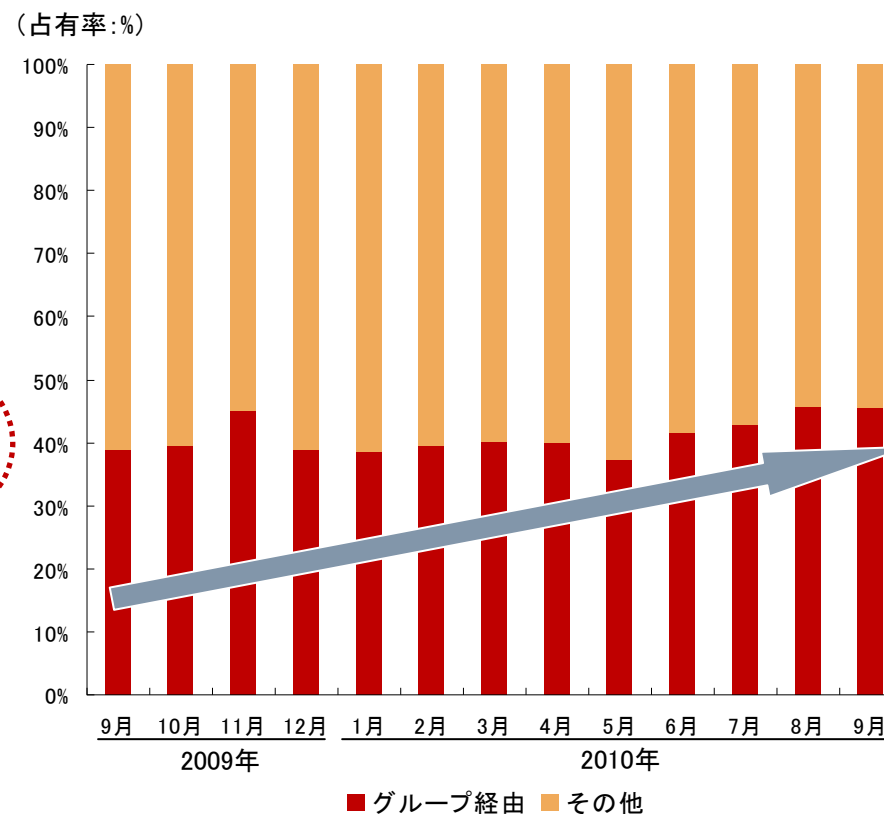
■ 投資信託残高

- 新規口座開設数は業界首位のSBI証券とほぼ同水準
- 新規口座におけるグループ経由獲得比率は45%を超える水準まで伸長

ネット証券5社の新規口座開設数の推移\*1



新規口座の獲得経路構成比の推移\*3

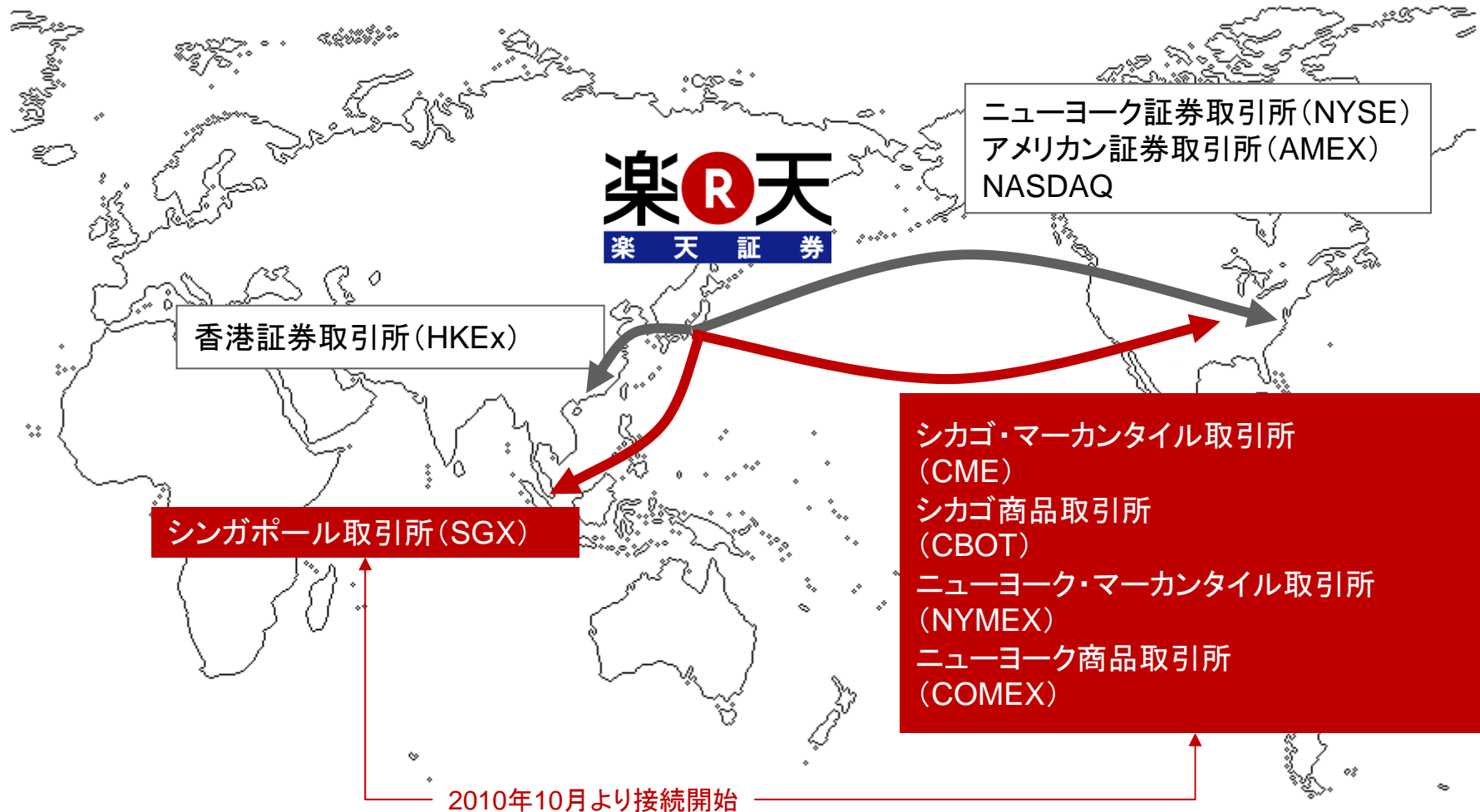


\*1: 各社公開情報を基に作成

\*2: 松井証券の2010年5月は口座洗い替えのため不明。マネックス証券の2010年5月はオリックス証券との統合のため不明

\*3: 楽天証券におけるデータ分析結果に基づく

■ CME、SGXへの接続による、海外指数先物および海外商品先物の取引開始



■ 黒字基調が安定



■ 単体ベースの営業利益234百万円を達成

■ 次世代型コミュニケーションサービス



■ Asterisk対応によるIP電話の拡販

- コールセンター受注が好調
- Asteriskを活用した新サービスを次々と展開

■ Webと電話を融合した新サービス

- 楽天トラベルにてInternet経由の電話受注サポートを実施。予約流通総額の増加に寄与

■ 新サービスの拡販



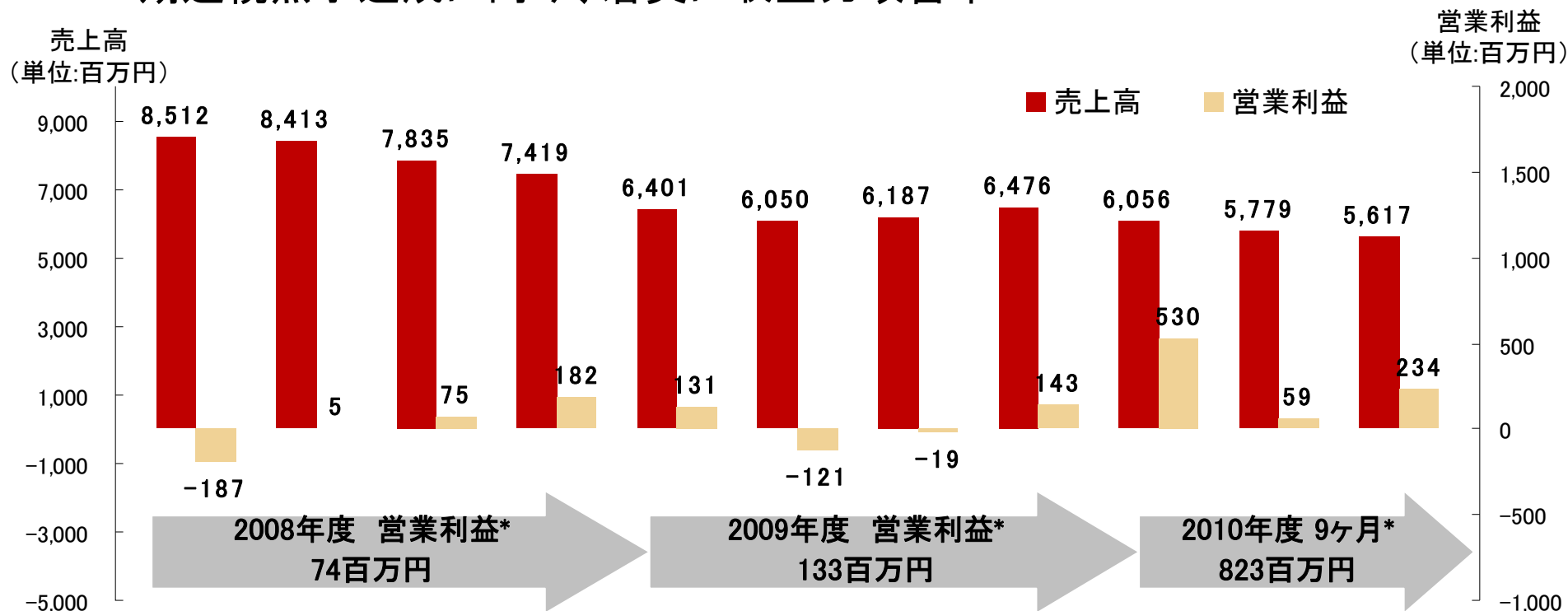
■ 『楽天ブロードバンド』

- 契約獲得数は大幅に拡大  
+293.9% (前年同期比)

■ 『楽天モバイル for Business』

- 固定電話への圧倒的な価格優位性を  
前面にキャンペーンを実施

## ■ 3期連続黒字達成に向け、着実に収益力改善中

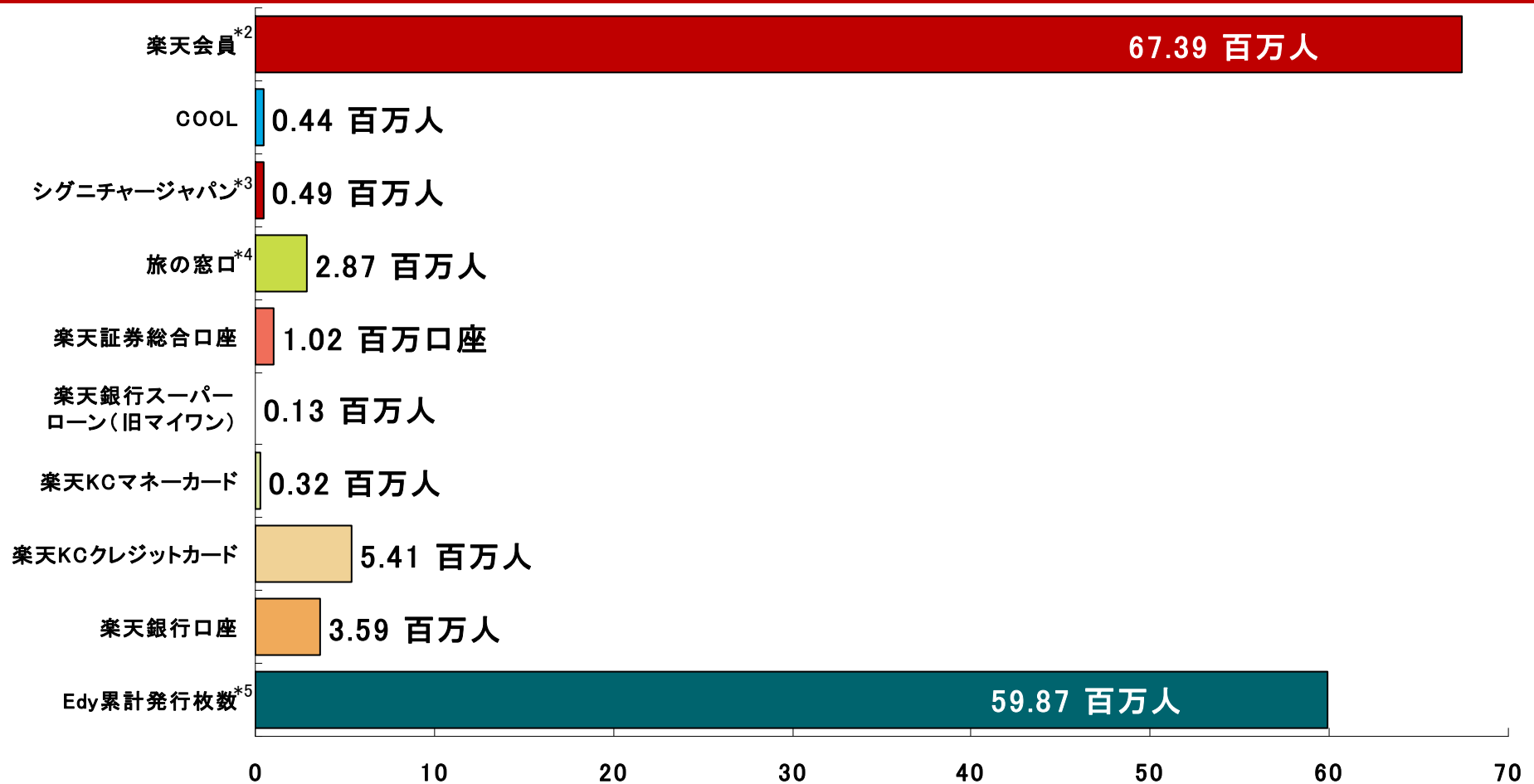


(単位:百万円)

	08/1Q	08/2Q	08/3Q	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	10/1Q	10/2Q	10/3Q
営業費用	8,699	8,408	7,761	7,238	6,270	6,172	6,485	6,333	5,526	5,720	5,382
変動費	4,611	4,296	4,046	3,792	3,279	3,656	4,071	4,007	3,310	3,628	3,402
固定費	3,354	3,384	3,023	2,767	2,331	1,904	1,691	1,633	1,561	1,398	1,346
販管費	734	728	692	678	660	612	723	694	655	694	635

\*: 連結調整前営業利益

# サービス別会員数\*1



\*1: サービス間の重複は除いていない

\*2: 楽天会員のうち、楽天会員入会后、サービス利用の認められない非アクティブ会員を楽天会員より除き有効と認められた会員数は42.77 百万人

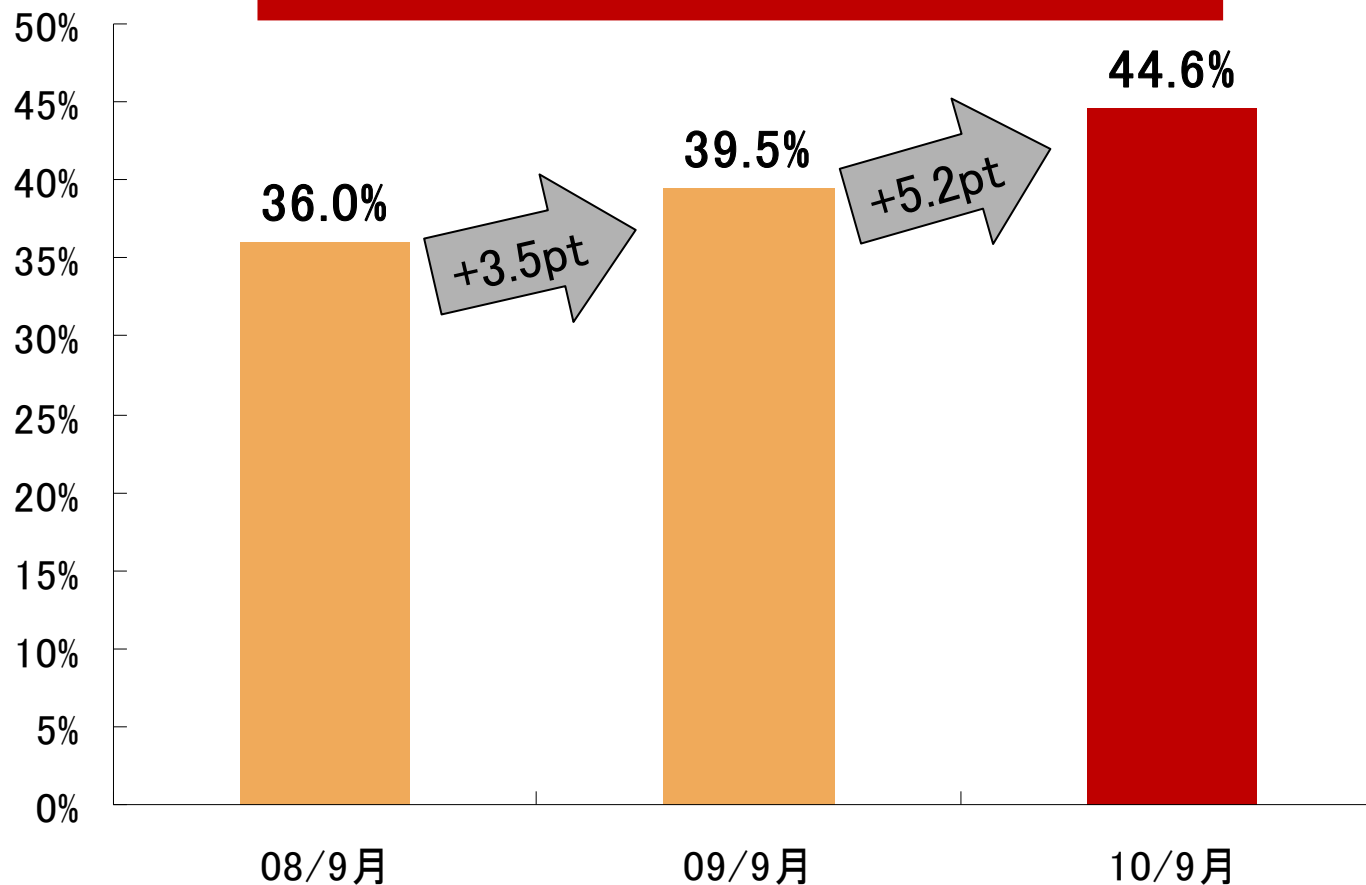
\*3: 契約カードへの自動付帯含まない

\*4: 旅の窓口会員は楽天会員IDに移行した人数除く

\*5: モバイル(おサイフケータイ)及びカード

## ■ グループシナジーが高まり、クロスユースの伸びが加速

### 楽天会員の2サービス以上の利用率



\*当該月間の楽天スーパーポイント獲得可能サービスの利用者が、過去12ヶ月間に他サービスを利用した場合をカウント  
\*楽天スーパーポイントが獲得可能なサービスの利用に限る(証券等を含まない)